（年中無休刊）（日曜日休刊）大正七年四月二十四日 THE KEIJO NIPPO （明治三十九年九月八日第三種郵便物認可） 第三千七百二號（一）

京城日報

二十三日夕刊（朝夕刊と併せて八頁）

本紙定價 一部金五錢 一ケ月金一圓 廣告料 發行兼編輯人 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

總督訓示 道長官に對する

別項記載の如く道長官會議は二十三日午前九時より總督府第二會議室に開會されしが長谷川總督は左の訓示を與へたり

客歳一月各位を會同せしより以來已に一年有餘其の間朝鮮經濟の發展亦勘しとせず今回會同の機に當り更に所見を述べむとす

朝鮮の產業は益興隆の氣運に向ひ農產物は米、棉、繭、牛等の價格亦日に騰貴し且其の經濟上の位置亦一層重要ならむとし鑛業は異常の勃興を來し林業漁業は普及改良の步を進め商工業は發展の狀顯著にして特に工業に在りては大規模の施設をなすもの續出するに至れり從て貿易殷盛にして大正六年度の總額約二億圓を算し輸移出入の權衡亦適順に趨けり各位は善く此の氣運を導き益地方の富源を開發し產業の振興を圖り以て經濟の基礎を鞏固ならしむるに努むべし

財政の獨立は其の時期近けりと雖も時運に伴ふ政費の增加は免るべからず故に一般會計より補充を受けざるのみを以て足れりとせず今後益財源の涵養に注意し以て財政の基礎を鞏固ならしめむことを期すべし而して本年度に於ては地稅令を改正し從來の結を廢し新に地價を標準とする稅法を行ひ以て賦課の公正を期し又煙草稅令を改正し負擔の權衡を圖り一面煙草需給の關係を調節せむとす

貨幣の整理金融機關の改善は目下經濟上の趨向に徵し頗る緊要なりとす韓國貨幣の整理は豫期以上の成果を擧げ今や朝鮮の貨幣は帝國貨幣に統一するの時機に到達したるを以て貨幣法を朝鮮に施行するに至れり又朝鮮銀行法を改正して資金の潤澤を圖り其の活動に便ならしめ更に農工銀行を統一し金融組合を改善し以て金融の疏通調節を圖らむとす各位は是等機關を善用して施設按排各其の宜を得むことを要す

輓近各種農產物の價格騰貴し副業の收入亦之に伴ひ增加せるを以て地方農民の生活著しく向上し而もすれば奢侈濫費の傾向なき能はず是れ一般物價の暴騰を助成する因ならずとせず殊に戰時中米麥等の輸出を制限して物價の調節を圖れり各位は一般民衆を指導して奢侈濫費を戒め日常必需品中に在りては特に米の濫費を防ぐと共に物價調節に資する所あらむことを望む

鐵道は大體に於て幹枝の系統を整頓し已に地方開發を主眼とする輕便鐵道普及の必要なる時機に入れり各位は其の敷設を要とする路線を研究して企業の促進に注目すべし又道路の修築は第一期工事を竣成し地方資力に據る改修工事と相待ちて交通の面目を一新せりと雖既成道路中改善を要するもの尚勘しとせず將來主要幹線の開通を圖るの外勉めて是等の不備を補修し以て其の利用を完うせむことを期すべし

地方行政に關しては曩に面制を施行し府制と相待ちて地方制度の基礎を確立せりと雖面吏員は尚未だ其の事務に習熟せりと云ふべからず各位は益指導監督を加へ以て所期の効果を擧げむことを努むべし農事の發達に伴ひ水利組合を計畫するもの續出せるは洵に欣ぶべし然りと雖本事業の成否は地方農民の利害に多大の關係を有するを以て之が設當に際しては細密の考慮を用ひ苟も悔を後日に遺すが如きことなきを要す

教育の施設は逐次整備せりと雖朝鮮の開發は之に待つ所多きを以て益其の擴張を圖り特に公立普通學校の增設を計畫するの要あり又現時の大勢に順應して化學的工業の思想を助長し其の設備を完成するも亦緊要の事に屬す殊に教員の向上に至りては教育の效果に至大の影響あるを以て之が督勵を忽にすべからず

土地調査の結果に依る地籍行政は朝鮮に於ける創始の事業なるを以て常に細密の用意を怠らず正確迅速之が處理をなすべきは言を俟たず又本府所轄官有財產調査事業は體完了せりと雖地籍行政と齊しく其の異動の整理を嚴密にせざるときは日ならずして紛糾を致すの虞あり各位は是等に對し十分なる措置を講じ以て其の成果を擧げむことを要す

國勢調査は土地調査と相待ち施政の基礎たるべきものにして本年度より之が實施に着手するに至れり本事業は關係極めて廣汎にして且精確を要するものなるが故に從事員の教養其の他諸般の準備を周密にし以て良好の成績を擧げざるべからず各位は此の旨趣を官民一般に周知せしめ事業遂行上苟も遺漏なきを期すべし

西歐の戰禍は延て西伯利に波及するに至れり同方面には從來朝鮮人の在住するもの多きを以て動もすれば其の影響を被り一般民衆にして其の流言に惑はざるの虞なしとせず各位は之に對し戰局何如に拘らず帝國臣民の生命財產は寸毫も憂慮すべきものなきを知らしむると共に苟も民心の歸向に誤らしむるが如きことなきを期すべし

○自治會過激派對抗 血を見る迄對抗せん

沿海州自治大會は大多數にて勞兵會に反對の決議を爲し血を見る迄過激派と對抗す可しと敦圉き又過激派も必ず自治會を解散せしむ可しと傲語し居れり自治會の存續奈何は目下の外交關係に重大なる意味あり（浦鹽電報）

○コルニロフ將軍殺害さる 反過激派運動畫餅に歸すべきか

露國公報に曰くコルニロフ將軍はイエリザウエチンスコエコテノシヨン附近に於ける過激派軍との戰鬪中將軍麾下の一枝隊に屬せる高加索兵二名の爲め殺害されたるを以て將軍の反過激派運動は全く畫餅に歸すべし（莫斯科電報）

○獨逸俘虜撤退通告

露國政府は本月二十日無線電信を以て獨逸外務省に對し獨逸俘虜を東部西伯利より速に撤退せしむ可く必要なる手段を執りたる旨通告したりと（倫敦電報）

◎西洋立憲の由來と我國立憲の精神（七）

法學博士 上杉愼吉氏講演

本來國王は之を存置したくはないが、種々の事情の下に暫く之を從來の儘にして置く。併しながら、憲法を制定して、國王は唯形の上に於てのみ之を置く丈けで、言はゞ床間の飾物にして了ひ、憲法で縛り上げて、手も足も出ない樣にしたのである。即ち

△國王は形の上に 於ては之を置くが、其の實は國會が、實權を把握すると云ふ巧妙なる方法を考出した。斯の如き方法を立憲主義と稱した。之は佛蘭西當時の學者政治家が、色々討論研究の結果考出した方法であるが、チエールの如きは『君主は臨座すれども政治せず』と言ひコンスタンは『君主は雲の上に在りて惡い事も爲さず、善い事も爲てはならぬもの』と言ひ、君主は全く床間の飾物とかつて了つたのである。そして權力は一切國會が握つて之で先づ安心と云ふ事になつたが、之を名付けて立憲主義と言つたのである。されば、歐羅巴に於て十九世紀を通じて發達したる、立憲政體の由來である、憲法の運用は、此の方針に向つて進んで來た。言換へれば、君主は飾物として之を置くが、國會が

△政治の中心と なつて實力を握ると云ふ方針の下に進むのが即ち歐羅巴立憲の理想である。此の地よりして今日歐羅巴に於ては、獨逸の立憲政治を、猶幼稚なりと言うて居る。其の意味は獨逸には憲法があるが、ともすれば君主が、手を出して色々な事を爲すからである。佛蘭西人は千八百十五年に憲法を制定して政治の實權を君主の手から國會に奪ふ巧妙なる方法を考出したが、之は佛蘭西人が窓に考出したものでは無く、其の以前既に英吉利に於て、實行されて居た。英吉利にては國王の專制は佛蘭西よりも餘程早くから行はれて居たのみならず、甚だ極端であつた。故に彼のクロムウエルの革命で國王が誅首されたる事もあつたが、再び王政復古となるや國王は又もや專制を行つたので、國會と國王とが激烈なる衝突を爲し、其の結果

△國王が敗けて 佛蘭西に出奔した。之が有名な千六百八十八年の英吉利革命である。此の革命に依つて、政權を國會の手中に收めたが、併し國王はあつた方がよいと云ふので、ウイリヤムを迎へて國王とし、茲に政治の方針が決定した。即ち英吉利では國會が主人であつて、國王は傭人であると云ふ事に定まつた。夫れ以來英吉利では色々な事情に依つて、國會が政治の中心となり、國王は立派にあるけれども、手も足も出ない。即ち國王は善も爲す事能はず、又惡を爲す能はずと云ふ筆法で國王を拘束したのである。斯の如くにして英吉利に於ては、國會が政治の實權を握る事が夙に發達した。故に歐羅巴では、英吉利を『立憲政體の母國』と言うて居る。立憲政體の母國であると云ふ意味はどう云ふ譯かと言ふに、國王は何も爲さないで、ずつと坐つて居り、國會が

△一切の政治をやる、或は內閣が實權を握ると云ふ制度で此の制度が歐羅巴諸國に傳はつた事を言ふのである。然るに我が國に於ても、英吉利は日本の立憲の母國であるから、英吉利のやうに爲たければならぬと云ふ議論を耳にするが、斯の如きは全く事の眞相を解せず、唯皮相の考で斯樣な事を然と他是論議するものであつて、我國に於ては斷じて避けねばならぬ事であると信ずる。歐羅巴に於ては千八百三十年に白耳義が獨立を宣言し翌年三十一年に憲法を制定した。之は模範憲法と稱せられるものであるが、白耳義では國王は置いた。併しながら其の憲法には、白耳義の主權は『人民に在り』と明定しなのである。佛蘭西の立憲主義、或は立憲政體の母國と稱せらるゝ英吉利ですら其の憲法に

△主權は人民に 在りとは言し得なかつた所を、白耳義は大膽に之を憲法の條文に明白に書上げた。斯の如き憲法が、立憲の模範であり、斯の如き憲法が模範憲法であるのである。是等の事實に就いて詳細に申述べて居る遑は無いが、要するに、西洋立憲の由來を觀れば、兎に角、理想であつて、中世に於て權力を握つた君主を追まつて專制の君主を生じたのを窒息して飽迄も其の理想を貫徹せんとするもので、今日の佛蘭西の如く、國王を廢して共和の政治を行ふのが本來の希望であり、此の考の下に今日の立憲が行はれて來たものである。併し急に國王を廢せんが爲に革命の如き大騷をやつた所で、結局

△得る所が無い から國王は置くには置く。其の代り飾物にして、實權を國會が握ると云ふのが歐羅巴立憲の理想であり精神である。斯かる趣意の下に制定されたのが歐羅巴の憲法であるので、故に假令彼我憲法の條文が相似しとするも、之を解釋運用するに當つては全く逆つた考を以てしなければならぬと云ふ事に歸るのである。然るに我が憲法の何條には何んと書いてあるか、何條には白耳義憲法の何條と同じ事を書いて居るから、之を同一に解釋運用しなければならぬと言ふ者があつたならば、思はざるの甚だしきものである。

○紙類値上決定

紙類は原料工賃騰貴に就て全國聯合會にて平均一割方又印刷紙は五分方値上げの事に決定せり（大阪特電）

○將校團大連視察

東京本郷聯隊區管內將校團一行川崎大佐以下二十六名は大連視察後二十三日旅順戰跡視察に向へり（大連特電）

◎宮殿下御出發

東伏見宮依仁親王殿下は廿三日午前十一時仁川港御出發相成りたり

◎御航海御平安言上

長谷川總督は廿三日午前十時小月尾島の無線電信に依り東伏見宮殿下御附武官南鄕海軍大佐に宛『御出港に際し謹で航海の御平安を祈奉る』右言上を乞ふ旨發電せり

◎道長官會議

道長官會議第一日は二十三日午前九時より總督府第二會議室に於て政務總監統裁の下に開會各部長官、局長、參事官、遞信局長、警務總長其他各課長等列席總督の訓示あり諮問事項に移り正午閉會せり

◎學校組合設置許可

谷城學校組合設置の件は四月二十二日附を以て許可されたり

◎建設材料暴騰と鮮鐵

滿鐵京城管理局に於て總督府命令により大正七年度建設改良費の計畫を目下立案中なる事は既報の如きが右豫算を鐵道局にて議會提出のため編成せしは昨年七月以前にて當時の鐵道材料價格と現在の價格は其の間に著しき差あり殊に建設材料中の主要品たるレール橋脚の如き枕木の如き目下の相場は之れを戰前の大正三年に比すれば前者は三倍強後者は二倍半の騰貴にして當局も其の計畫の遂行上多大の苦慮ありと

◎鮮米北海道移出計畫 先づ千石だけ輸送試驗の豫定

京城米穀商某々氏等は朝鮮米の北海道移出計畫を立て差當り一千石を同市場に送り同地方人の嗜好に適するや否やを試むべく其輸送を朝鮮郵船會社に申込みしも同航路は朝鮮郵船の日本海橫斷航路に依り敦賀にて同地北海道行の不定期航船に連絡せんとするに在り聞く處に依れば北海道よりは產物其他を積載して敦賀に入港する不定期船の復航に托せば五六月の交各二萬石內外を輸送するは困難ならざるべく而して別段の困難なき狀況より推して北海道に於ける鮮米の需要如何を察するに全道の人口三百萬に對して米の需要額は八百萬石を出で爲に毎年二百萬石は新潟富山其他の地方より供給されつゝあり然れば需要の全部を壓倒せざる迄も其の幾分を割取し鮮米の好販路を拓き得べき見込みなりと云へり京城に於ける當業者が此に著眼し直ちに北海道移出を計畫せるは機宜に適せるものにして朝鮮郵船に於ても頗る其前途に囑望し第三回航海の貨物は滿船の盛況を受託締切後たるにも拘はらず如何樣ともして艙腹の繰合せをつけ切て申込の半額にても積取るべき方法を講じつゝありと

◎辭令 今回左の通り辭令あり

仁川公立商業學校教諭 陞敍高等官六等六級俸下賜 熊谷彼夫
依願免本官（四月二十二日附）
朝鮮總督府技師 陞敍高等官六等六級俸下賜（四月十五日附） 菖蒲治太郎
陞敍高等官四等六級俸下賜（四月十八日附）
依願免本官（四月二十二日附）

勳七等 都澤正章
任朝鮮總督府技師 叙高等官六等四級俸下賜（同）
朝鮮總督府遞信技師 木村昌作
叙高等官七等八級俸下賜
同遞信技師事務官補 手塚
任朝鮮總督府遞信副事務官 叙高等官六等五級俸下賜
京城地方法院書記課長 尹台鎭
任朝鮮總督府判事 叙高等官八等十二級俸下賜 補公州地方法院洪城支廳判事
臨時土地調查局書記 井口彥
任朝鮮總督府臨時土地調查局監查官 叙高等官八等五級俸下賜

◎電報增加三割

新時に於ける電報の遲延は通數の增加に基因する事多く其の對應策は技術員の增加を圖り並に電信回線數の增設を行ふの外なき模樣なるが朝鮮に於ける電報通數の增加に付某當局の談を聞くに各種電報の增加は之れを昨年の同期に比し約三割增を告げ居れり乃ち鮮內電報通數中大正六年四月より同七年二月までに於ける十一箇月の取扱は六百四十二萬通にして之れを前年同期の四百九十三萬通に比すれば約百五十萬通の增加となり更に京城郵便局に於ける報發着數の如き歳末最も多數なるも本年三月並に四月の如き例年電報數の最も減少すべき月なるに拘はらず一日の發着總數は歳末の取扱を凌ぐ事珍らしからず以て如何に通信利用力に對する一般の增加程度を知り得べく又鮮內財界の膨脹程度を窺ふべしと

◎東省實業專務

東拓の援助により創立されたる東省實業會社は五月中旬奉天に創立總會を開會する由なるが同社成立後專務には內藤熊喜氏東拓參事の資格を以て東拓を代表し專務取締役に就任すべしと

◎駐屯軍慰問團入京

旭川實業協會主催滿洲駐屯軍慰問團一行十名は渡滿の途廿四日午後九時南大門着列車にて入京天眞樓に投宿の筈なるが京城に二泊の上京仁市中其他を視察し廿七日南大門發車に向ひ同地一泊廿八日出發安東を經て滿洲各地に於ける駐屯軍の慰問を爲し五月七八日頃大連出帆歸國すべしと

◎立花師團長巡閱

第十九師團長立花中將は新義州、義州、山城、諸部隊檢閱の爲め小出、山崎兩參謀、宮地副官、吉井三等主計正、鮎谷主計、石川軍醫等を隨へ廿三日夜龍山發列車にて北行すべく來る五月一日歸營の筈なり

◎野島少將歸省

廿日入京大觀亭投宿中なりし前步兵第七十七聯隊長、待命陸軍少將野島僖一氏は家族同伴廿三日午後七時十分南大門發列車にて鄕里福岡に向ふべし

◎鹽澤大佐出張

鹽澤京畿道警務部長は在鄕軍人永原分會總會臨席の爲め二十三日朝京城發同日午後三時歸任せり

◎支店長赴任期

漢城銀行釜山支店長に轉任すべき張弘植氏は二十五日夜南大門驛發列車にて赴任の途に就くべし

◎取消

前號夕刊二面所載釜屋少將談話中宮殿下より李王妃殿下に對せられ『一度御東上なすつてはいかゞですか是非お待申して居ります』との意味の御挨拶ありし事は誤聞に付取消す

○愛蘭徵兵法反對 勞働同盟代表者と同盟罷業

ダブリン市に開かれたるデロン氏を會長とせる五十五名の國民黨代議士會は愛蘭徵兵法反對の結合を固くする迄愛蘭に止まることに決したり、倘ダブリン市の公會堂に會合せる勞働同盟代表者五百名は徵兵法に反抗する事を宣誓し勞働者をして此宣言に署名せしむる爲め四月二十二日を以て總同盟罷業を爲すべしと（倫敦電報）

○獨外相辭職再燃

獨逸外相キユールマン伯の辭職說再燃しヘルフリッヒ氏其後任に擬せられつゝあり（アムステルダム電報）

○露國陸軍統一軍令

露國陸軍部は軍令を以て陸軍會議の參議員たるトリフオノフ氏をして烏剌爾及び西伯利の地方勞兵會陸軍部の事業を統一せしむる事とせり而して右の軍事官憲は同氏を經由して中央陸軍部と往復する事となせり（莫斯科電報）

朝鮮館の好評 低徊願望去りやらず

□蒼古典雅の趣ある

‖九州視察隊より第五信‖

朝鮮館は東京に開催された化學工業博覽會の際建築されたものを再び福岡に持つて來たものであるが、臺灣館のケバ〳〵しい色彩よりも何處となく

◎古典的で 重味があり且つ位置も宜しいので評判は非常に宜い只惜むらくは窓口の女が朝鮮服を着て居ない事と竹西女史が彩筆を振はない事とが物足りない感じを與へる之蓋し當局者の聊か時機を失した嫌あるとでも言ふ可きであらう今後は當局者も此位の風流氣、商賣氣を出して貰ひたいものであるとは一行の人々が囁やき合ふ

◎小い不滿 であつた朝鮮館に相對して臺灣館は中央に樟腦の門を作つたため場內に入ると先づ第一に樟腦の匂ひがプーンと腦天を刺戟する餘り感心しない氣分ではあるが陳列は極めて調和が宜く處々に標榜を配したあたりは清楚で如何にも熱帶的の氣分を漂はせてゐたが賓客のウーロン茶を海老茶袴が運んで來る對照も朝鮮館同樣餘り乙ではない、一行は協贊會の案內で

◎武器陳列 場を觀たが同館は豐太閤を始め朝鮮征伐當時の名將其他大名の由緒正しい古武器や名器が無慮五萬點から陳列されてあるので一應觀て步く丈けでも約二時間は費ると云ふ有樣其中には秀吉が朝鮮征伐の時明人から分捕つた武器や捕虜の手錠、算盤、明軍大將の鞍、軍用金庫等朝鮮で探しても手に入らない古器が

◎數多陳列 されてあつたので朝鮮人側は低徊去りやらず促されつゝやつとの事で都外に出た程で何れも大滿足の意を表して居た由以來朝鮮關係の人は勝から朝鮮館を訪問するさうであるが一行が縱覽した前々日は山縣政務總監が夫人同伴で來られ二日は慶尙南道方面から四五十名の鮮人觀覽者が外其他にも

◎平壤仁川 釜山方面の人が一行と出遭つて懷かしげに言葉を交して居るのを見受た（福岡にて早川生）

列車時間表

（十一月一日現行）

[illegible]

長安寺極樂殿を旅宿

=にして温井里から元山迄海岸傳ひ二十八里の=
=道を自動車で走らせる事が出來るやうになる=

探勝客の便利を計ると云ふ京城管理局の新計畫

滿鐵京城管理局にては金剛山紹介の爲め探勝の便を計る可く海路を迂回せずして京元線より自動車を通す可き計畫あり之れが用務を帶びて朝鮮ホテル支配人猪原貞雄氏は過般同方面に出張中二十一日歸京せるが語りて曰く『今度の計畫は割合

◆短時日の間に金剛山へ往復が出來て然も探勝の地域を廣くと云ふ要求から起つた事である昨年迄の順路即ち元山から海路長箭に上陸して再び同じ行程を踏む事になれば京城から少くも十日間の日子を要する、然も船便の繰合せ天候等で豫定の時日で行程を進める事が出來ぬと云ふ不便は屢々經驗した事で仕うしても陸路を執らなければ嘘であると云ふので此の度から自動車を通ずる計劃で京元線高山驛から

◆鐵嶺を越ね新安驛に出て末輝里を通り直ちに内金剛の長安寺迄直行する此間には先年非常な難工事を行つて道路を通じた斷髮嶺がある何しろ此嶺は海拔三千六百尺もあつて九十九折に山腹を縫うた道から眺めると金剛山の大觀は鼻の先きに迫つた樣に見ゆる處である此の里數二十四里自動車四時間乃至四時間半の行程である

◆長安寺へ泊る事が出來る長安寺では極樂殿を改修して日本人十名外人十名位の宿泊に便する設備をする事になる翌日内金剛を見物して其翌日は末輝里から細洞を經て外金剛を見ながら温井里へ出て泊ればいゝのであるが細洞から温井里迄は例の萬物相や寒霞溪で現今は駄馬すら通れない山道であるから將來は駄馬位は通れる樣にし度いと思ふ、温井里から

◆元山迄海岸傳ひ二十八里の道は更らに自動車を走らせれば十二時元山發京城行の列車に間に合ふから其晩は京城に歸着する事が出來る此道は前に日本海の空漠たるを望み海岸は白砂青松打連なり有名な叢石亭もあり後は金剛山に續く江原道の連山を望み非常に景色のよい處である、つまり京城から滿五日かゝれば金剛山の探勝が出來る事になるのである、目下道路の

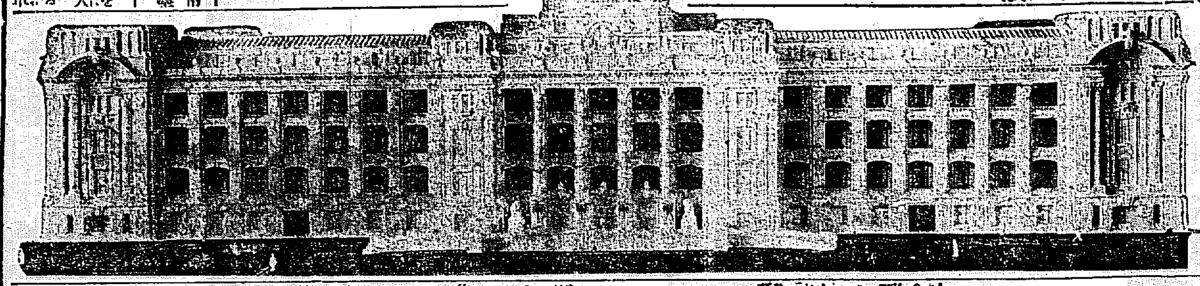
◆改修を急いでゐるから七月の初旬には如上の計畫は實行の運びになると思ふ車臺數は六臺を兩方の道路へ交互に運轉させ料金は十圓位になるであらう十圓は不脈い樣にも思はれるが滿鐵會社としては料金を安くし道路を獨占して了つて他の競爭者を排すると云ふ事は地方開發上面白くないと考へてゐる。』

精巧を極めた總督府の模型

=二千圓を費して=

二年目に完成

景福宮内に造營中の總督府廳舍の模型は大正五年の三月から着手して漸く此程完成した、全部純白の石膏細工で大きさは現物の五十分の一で間口八尺五寸奥行四尺五寸三分軒の高さ一尺五寸中央圓形の屋根上にある人物の頭迄が三尺三寸四分と云ふ大きなもので實に二年の日子と二千圓の費用を投じたものだそうな、それ丈構造も精巧なもので寸法等も甚だ正確に出來て居る斯樣な大建築になると圖畫丈けでは不充分で一度模型を拵へて見ぬと屋根の工合などはわからぬさうな



櫻谷櫻の由來

□日本趣味を作る爲め□
□内地から苗木を取寄せて□

強い電光を浴びて夢の樣に浮き立つた花の下へ雪洞や紅提灯の風雅を見せて夥しい人氣を惹いた櫻谷の櫻は明治四十年總督府廳舍が光化門から今の倭城臺へ移轉した時日本的趣味を作る爲め内地から櫻の苗木を取寄せ今の總督府司法部、當時木内長官々舍の前に植付けたのが始まりで今の學校組合議員田中君は熱心な培養者で櫻をいぢめる者があると例の大聲で叱り飛ばしたりしたものだそうなそれにしたり毎年雜魚の頭を買入れて肥料にしたりしたものだそうなそれで今では斯樣に立派に成長して京城名所に數られる樣になつた

全國から力士を募集

募集員迄出す

▽出羽の海の新計畫

出羽の海は門下に新進有望の力士を養成すべく汎く全國に是れを募集する計畫を立て先頃來二三の募集勸誘員を信越地方に派遣して居る是れに就て出羽ノ海は語つて云ふ『目下の所私の部屋には

◆横綱大關以下の幕の内力士も大分居るがさりとて是等の連中が此先永く取つて居られるものではなく軈て追々引退するやうな時代が來るが今の後進力士が果して夫れ等に代る程のものになるか何うだか分らないから常に油斷なく

◆新進力士を養成して置かなければならない好力士の出ると出ないとは獨り私の部屋の繁榮に關するばかりではなく相撲道全體の盛衰にも及ぼす譯である此故に私は二三の者を地方に派して事内務部長郡長、村長方又は園體に斡旋を乞ひある所は其方の盡力斡旋を乞ひ

◆相撲熱心の青年を募集することにした其志望者の内若し他の部屋に入ることを欲せず今西方の好きな者は又西方の誰れの弟子に世話をしても宜い是れは私ばかりではなく相撲

◆年寄一同に適應方法を以て汎く全國から力士を募集するやうに努めたなら相撲道は彌々益々發展して永く今日の隆盛を持續することが出來るであらう』

漁夫百名水產會社を襲ふ

同僚の溺死から不穩の振舞

全南麗水郡羅老島の水產會社にては先頃内地より漁船十隻を大形帆船にて曳船し[illegible]

△歸鮮の途に就きしが[illegible]

△全く卧船の[illegible]

日本僧逮捕

滿洲里の過激派に

西本願寺より滿洲里へ派遣せる僧侶は密書を携帯せる爲め過激派の手に逮捕されたる旨入報ありたり(大阪特電)

造船職工騷ぐ

二十二日午後播磨造船所職工二百餘名賃金値上を迫り社宅を破壞せり(神戸電報)

鬱陵島山火事

▽人畜死傷す

去る十八日鬱陵島南面苧洞山林中より出火せるを以て同島警察署は全部出動消防隊並に里民を指揮し消防に努めたるため翌十九日午後二時頃漸く鎮火燒失面積十町歩死者一名重傷者一名豚二頭燒死せり

小倉末子女史慈善音樂會

◆小倉末子女史

東京音樂學校教授小倉末子女史は[illegible]朝鮮教化事業費募集中なるが今回朝鮮教化事業費募集の爲め二十七日帝劇にて慈善音樂會を催し其收入全部を寄附する事となりたりと女史は語りて曰く『此の企ては先年李王家から御優遇を賜はりました其の禮心もありますが朝鮮の教化事業は國家の爲め最も必要な事でありますから聊か御助けする考へで主催する事にしたのです(東京特電)

宮殿下御下賜品

東伏見宮殿下は廿一日御退京に際し長谷川總督閔李王職長官、國分次官等へ夫々御下賜品ありたるが同時に總督官房、李王職々員、護衛の憲兵警察官以下に對しても夫々酒肴料を御下賜相成りたる由

兩師素謡會

喜多會京城支部にては今回東京喜多流師範粟谷益三郎梅津正保兩氏の九州中國地方催能の途次觀光の爲め來京せるにつき京城喜多會支部員相謀り兩氏を招請し來る二十六日午後六時より京城ホテルに於いて素謡會を催すべく當日は市内各流師範出演すべくその主なる番組は左の如し

[illegible]

連絡船上陸客

二十二日

午前釜山入港高麗丸二等客[illegible]

不埓な機船

遭難者を見捨てゝ逃亡す

全南莞島郡甫吉面某所有の發動機船福島丸(十九噸)は四月十四日午前四時頃同郡青山面沖十四哩南海島附近にて船名不詳の發動機船と衝突沈沒し船長中谷安治便乘者西村精一外朝鮮人四名は行衛不明となりたり急報に接し麗水署よりは直に警備船を派遣したるが福島丸は順天郡倉にて米穀其他を積込み前記場所を航行中遭難沈沒するに至りたるものにて中谷船長は之と同時に乘客矢野つちゐを短艇に移乘せしめたるが件の發動機船は他の乘組船、乘客が板片に縋り漂流し居る現場を目撃しながら不埓にも間に乘じて逃亡したり其の内に機關は幸くもつちゐの乘り居れる短艇に移乘し折よく航行し來れる帆船太陽丸に救助され麗水港に上陸するを得たりしも六名の行衛は遂に發見されず一方麗水署にては前記の如く逃亡したる際發動機船の行衛を嚴探中十四日朝麗水港にて修繕をなしつゝある從橋浦山城某の所有發動機船魁丸(十七噸)を發見し直ちに船長及び機關長外一名を引致し嚴重取調べしに福島丸に衝突したる旨自白するに至れり

山の様なお土産を貰つて大歡び

▽寺々を廻つて大歡迎を受けた京都の喇嘛僧團

京都に於ける喇嘛僧一行は折から散る花吹雪に京の洛中洛外を巡禮して廻つた、げにも千年の都とて一行の訪ぬる寺は數限りなく何處の御堂にも蒙古式

◆西藏經のむ誦をあげたのであつた、十六日の午後名古屋から入洛した當日は東本願寺で法主を首め大谷一同の大歡待をうけた[illegible]

◆珍客として下にも置かぬ待遇[illegible]

◆御言葉を下され且つお土産さへも賜はつた、一行は[illegible]

◆妙心寺では法衣の前で讀經[illegible]

花 開城

有名なる開城の櫻花は昨今咲き始めずと云ふ處にも殘らず散りも始めずと云ふ處に誠に見事なり桃は多分來る廿八日の日曜頃より月末頃にかけて滿開と成るべく驛前より專賣課出張所附近まで數町の間は鐵道公園生垣の連翹今を盛りと咲亂れ目も醒むるばかりの壯觀を現出せり

讀者文藝

(一等に五十錢 物券を呈す)

▲物は付『勘辨出來ぬものは』

○松の廊下(一等先選) 滿鐵社宅第一合宿 傍島 庸

[illegible]

□課題及び募集規定 [illegible]

商況

兵庫期米 [illegible]

東京期米 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

◉三品下押す [illegible]

◉砂糖は荷薄 [illegible]

◉大麥小弛む [illegible]

◉金巾類は送り [illegible]

◉錫吏に强し [illegible]

◉新茶本走入荷 [illegible]

◉正米持合小甘 [illegible]

◉麥粉高氣配 [illegible]

◉色豆は暴落 [illegible]

◉鐵類頭重し [illegible]

仁川正米 [illegible]

生魚市場 [illegible]

仁川期米 二十三日前場 頭重し [illegible]

仁川米豆取引所 二十三日の六月限 [illegible]

北濱たより ▲株と時局案じ [illegible]

▲糸安と紡績株 [illegible]

大阪後出門十錢 [illegible]

市場雜觀 [illegible]

下關相場 [illegible]

南大門の廻觀 [illegible]

叺繩莚 穀物及肥料用 叺及荷造用莚各種 大田本町三丁目 箕浦商店 長電話五二番

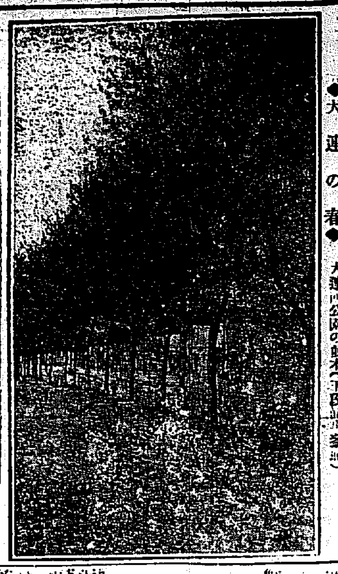
米穀肥料委託賣買 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目 電話長一九番

近江屋呉服店 仁川本町 電話五〇六番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金尙燮 仁川海岸町三丁目 電話長一〇〇 電話長一九

大阪期米 [illegible]

西の風晴 [illegible]



◆大連の春◆　大連西公園の並木（下段記事參照）

◉本邦燐寸業の勃興史（下）

日本燐寸[illegible]　五島醇八氏談

前回說明した如く神戸大阪が燐寸の本場となつた、そして神戸は專ら大阪を壓倒する勢ひであつた、時に日本の

燐寸界には二派

の潮流が橫はつて居た、即ち瀧川系と非瀧川系である、其の瀧川燐寸なるものは瀧川氏と二人の支那商人との合資組織の如き形を以て經營され其の販賣權は殆んど全部支那人にあつた、只瀧川氏は朝鮮釜山の沖永氏の手によりて若干を朝鮮方面に輸出してゐたに過ぎなかつた模樣である、斯くの如き狀態から支那商人の手より輸出權を奪ふのは實に困難であつたが、漸を以て支那商人の勢力を驅逐して日本商人の手に移す間彼の日露戰爭が起つた……當時の輸出額は約七百五十萬圓……此機會を利用して日本商人の勢力は蘭貢に馬尼剌に廈門に延びたが未だ其の本據とも云ふべき上海廣東は如何ともする事が出來なかつたのである、要するに此の明治三十年から四十年の十年間は燐寸

輸出の覺醒時代

と云ふ事が出來る、日露戰爭に對して賠償金は一文も取れなかつた、爰に於て日本國民の自覺心を益々旺盛にしたと共に一層の奮鬪心を喚起した、而して世界燐寸界を三分して其の一は日本の掌中にある、優勢なる位置を占據した、が外敵たるダイヤモンド會社は其の資本を倍額になし瑞典諾威を殆んど征服した勢を以て日本に臨むべく其の副社長は視察の爲め渡來したが偶ま其の當時も小工場が各地に亂立して大勢力とも云ふべきものを捕捉する事が出來ないので其の方針を一變し北海道の材木調査に向うて歸來直ちに農商務當局に對して一の建策をなした、曰く日本燐寸の生命は向後十年を出でざるべしと、而して是れが調節救濟の方法は政府の專賣となし政府歲入の增收を計るにあり即ち政府年間最少限二百五十萬圓の歲入增加を見るを得べしと……一寸附加へて云ふが日本の燐寸の價格は明治十年の頭から其の當時まで一文の値上げもしなかつたのである……そこで政府の意は大に動き全國

燐寸業者の大會

を農商務省に開き會社組織か專賣斷行かと云ふ事が凝議される事となつたが遂に其の議は兩方とも物にならずに終つたが當時物價は騰貴する勞金は高くなる等の爲め同業者の困難は甚だしかつたが其の會社か專賣かの聲に媚られて思惑筋の買進みに會ひ同業者は不測の利益を見てホット一と息ついたのである、と同時に

天佑と見るべき

好機會がやつて來た其れは彼の鈴久の飛び出しである、株の暴騰と暴落とにより瀧川系に屬する一人の支那人は破產の悲運に陷り一人は樂隱居をなすと云ふ具合で爰に全く支那商人の勢力を驅逐し得たのである、爾來幾變遷して瀧川系は東洋燐寸として四百萬圓の大會社となり三井系は百萬圓の日本燐寸會社となつて今日に迨んでゐるが……而して依然として神戸を中心としてゐるが……神戸大阪を中心とした云ふのが既に問題と思ふが是れは別問題として今日日本の燐寸輸出額は三千萬圓以上に及ぶが彼の米大會社の

副社長の言の如く

日本燐寸の生命は十年を出でず今や其の軸木の大部分は浦鹽方面に仰ぐの已むなき場合に遭遇してゐる、此の現狀から考ふると滿洲邊の燐寸業は將來有望である。

◎人夫ならでは夜の明ぬ世界になつた

◆一人の人夫に引手夥多◆

○礦物の周旋を專門にする者

近頃滿鮮を通じて鑛山と云はず工場と云はず何處にても人夫の拂底は其の頂上に達してゐる、是れが爲め鑛山炭鑛の採掘或は各工場等の事業が遲々として運ばず是が爲め各所に於て

尠らざる黃白を

擲て人夫の爭奪や爭奪に奔走

してゐる樣である、故に先日も兵器製造所で人の爭奪から大喧嘩が持ちあつたり何かして何處も彼處も殺氣滿々として請負者や經營者を困らせてゐる、現に過日も某大會社から小野田セメント工場へ人夫を誘拐に來た而して是等の間に介在して人夫の爭奪の媒介者も出來て之を一種の營業にして

一人周旋すれば

金八十錢と云ふ手數料が入る

ので是等の周旋人は巧に甘言を弄して人夫の引出に努めて居るから一人の人夫に引出手が何人もあると云ふ鹽梅で何所の會社も常に紛擾の絕間なく爲に事業が捗らぬとは飛んだ處に一種の社會問題が起つたものである（平壤）

安くなつた!!（青物と果物）

一時暴騰の極に達せし果物野菜類は昨今入荷に氣配軟弱を示し一般高價より三割四分の下落を見たり目下蜜柑上物三個四五十錢、荷物三個十錢見當に唱へ苺は時季と共に入荷多く其一園廿錢位なり（平壤）

◎兼二浦に遊廓が

いよ〳〵できることになつた

兼二浦に於ける遊廓指定候補地は二箇所にして一つは兼二浦附近今一つは東兼二浦里與香同共同墓地下附近なるが伊東黃海道警務部長は數日前實地を檢分したる由にて以開するところによれば右數地は後者の東兼二浦里に內定し不日黃海道警務部令にて發表すと（兼二浦）

◉高粱の繁茂期前に

滿洲の匪賊を殲滅せんとする計畫

東三省各地方に橫行しつゝありし匪賊の首魁五龍紅白等の一隊は目下東北地方各縣に出沒し不安危險の狀態なるを以て孟吉林督軍は張奉天督軍と協同動作を執り匪賊徒の殲滅を期せんとし彼に交涉する所ありしを以て張督軍は是れに同意し部下二十七師紹步兵長に步兵若干を附屬して海龍西豐東豐西安柳河各縣に派し更に馬鎮守使部下の兵二百餘を通化、興原、撫順各縣に派遣せしめ高粱の繁茂期以前に一擧賊徒の殲滅を期すべく計畫し既に夫れ〳〵行動を開始せしが特に柳河蘆江一帶は彼等賊徒の貿援に利便なる地域なるを以て殲討上一段の嚴重を加ふべし（安東縣）

ナリネの國より

善光寺まで

喇嘛僧の一行は十四日の夜信州の長野に著いた、無論善光寺樣に參拜の爲めである、これよりさき東京の上野を發つてからは飛鳥山、熊谷等沿道到る處の櫻花に醉ひ碓氷峠では妙義の奇峰と隧道に驚いた、長野の驛ではまた芋の子を洗ふやうな人波に揉まれ百數十臺の腕車を聯ねて善光寺境內の成山館に向つた、途中尠からず長野人の眼を驚ろかしたやうに見ゑたのは確かに善男善女中の一異彩であつたに相違ない、城山館からは全市の燈火が星のやうに煌めいた有志の歡迎會は盛んなものであつたかくてその夜は宿に一泊十五日は朝の五時から善光寺樣に參拜して蒙古式の西藏經を讀み上げた、此の時七年振り一回の御開帳になるといふ佛殿を拜して喇嘛一同非常な滿足であつた、殊に廣い御堂は日本國中の善男善女で、黑山のやうな御參詣、先づ大勸進大僧正から天台の般若經を讀み上げそれが終ると善光寺大本願尼公が淨土宗の御經が讀まれた、尼公は宮家の姬君で大宮智榮上人と申す方の法衣に綴錦の七條、頭には紫の水冠も尊く見ゑた、今年は實に善光寺六百五十回の御開帳といふまであつた、一行は暗い迴廊巡りを試み大勸進及び大本願でそれ〳〵寶物を拜觀し兩所共町中にも古き西藏の佛像などは喇嘛一行には尠からず興味のものであつた、杏と薔薇が名物の長野ではまだ山國の春淺くして近郊の花を訪ぬるに早かつた、一行は匆々善光寺を辭し午前九時過ぎの列車で名古屋へ向つた、途中日本アルプスの白い連峰や木曾の溪流なども一行の眼を驚かし且つ駒ケ嶽、御嶽の眺めも西藏や印度雪山のそれのやうだと一日車窓から大評判であつた、かくて十五日の夕方一路平安名古屋に入つた（名古屋にて金谷生）

◎滿洲糖の發賣は

◆糖價は幾分緩和するに足らん◆

滿洲に輸入さるる砂糖は重に臺灣產糖を內地より再輸入し來れるなるも本年臺灣の產糖額著しく減少すべき豫想なるを以て內地消費額を差引けば最早や滿洲に再輸するの餘裕なかるべく又來年度の同產額も同地原料栽培面積漸減の形勢にして寧ろ內地の需要を滿すに尙不足を感ずるに到るべき見込なり一方南洋諸島の產糖は時局以來殆んど輸入杜絶の情態なるを以て滿洲は今や砂糖の自作自給時代に入れるが南滿製糖資出の結果滿洲に於ける砂糖の自作自給を圖ると共に其前途は頗る有望なり（大連）

各地財信

◎浦項（慶尙北道）

慶尙農工銀行浦項出張所に就き同地三月中經濟狀況を聞くに左の如し

◆穀物　前月以來昂騰に昂騰を重ねたる穀價は更に引弛みの氣配なく米麥輸出禁止外米關稅廢減同船配給等の新調節策の現出せられしに拘はらず左したる影響なく依然强硬の姿を持續し特に西伯利出兵說の時局氣構にて更らでだに兎角寶腰强き農家は益々强硬なる態度を執り爲に產物は日を經て引縮りの傾向を呈し常と先高見込と相場は先走りを爲し措みに因り移出不引合にて只此間多少の思惑買となすものありしのみ

◆大豆　も內地の高値北滿の大暴騰と相俟ち更に大手筋の買占とに依り遂に十九圓臺を突破するに至れるも既に殆ど出盡せるもの〻如く出廻り極めて薄し

◆鰊　漸々終漁さて本月中は僅に四五百同此價格二萬餘圓の漁獲に過ぎざりし一方

◆輸入　綿系布類商況も依然沈靜の域を脫せず市況極めて閑散にして資金需要も更に起らず却て當地方豐漁の影響として一般相當の巡金を排し手許潤澤にして貸出は漸次回收勝にて金融は緩漫の裡に越月せり

◎營口漁業新經營

營口漁業總局は今回新に經費十萬元を投じて同地の漁業保護及び巡邏船を購入し大刷新を圖らんとし同局總辦起士衍氏營口より奉天に來り張省長と商議せり（奉天）

◎大連の春は綠に覺て

◆琅玕の玉のやうな森◆

●野外に行樂の人は稀れなり

十日ばかりも每日吹き續いた烈風がやんで朝凪のした靜かな海の方から肌さはりの柔らかな風がそよ〳〵と吹き始めて愈々春が來たと思ふともう市中の各公園は綠に成つた單に綠に成つたと云つたばかりでは甚だ物足りない昨日まで褐色の表皮を被つたまゝ大きく延びてゐた白楊の芽が一時に褐色の表衣を脫いで振り落し冬を象徵した灰色又は灰褐色の森は一晚の內に春の世界に躍進して綠の色に包まれた、淡いレモンと淡いグリーンを溶して塗つたやうな新綠は人の心を躍らせずには措かないほどに春の强い誘惑性と魅性とを持つてゐる、吾々日本人は春と云へば先づ柔らかなる情調を聯ぎては縫ひやうに降る春雨に地の潤ひを思ひやがて其處に紅の花が笑ふ事を想像するが

南鮮一廻り

八島生

◆大田に感ずべき苦學生◆

大田にて心強く感ぜられしは小學生徒の苦學生の多き事にて候、小學校卒業生は三名中學生一名ある事にて候、小學校卒業生は藤井[illegible]、河本信之助（一四）中學生原田[illegible]次郎の三名にて何れも其の家庭は赤貧洗ふが如く加ふるにお定りの親は酒に耽り居候ため子供ながらも離々敷く健げに苦學を思ひ立ち何れも朝は四時半頃を起いて配達を了り終へて學校に行き歸校後は家事の手傳ひ夜遲く迄勉强する由にて何れも成績良好に候由東京邊りにゴロ〳〵する苦學生の失敗者に是等の爪の垢にても煎じて呑せ度く存じ申候（大田にて）

大連の春の趣は

之さ全く異つたものである

大連が春に入つたと云ふ感じは風である每日面も向けられぬやうな烈風が日一日と寒さを減じて行く其處に春が送られて來たのである空氣も地上も極度に乾燥して砂塵が亂しく市街を包み行人を包んで居るが此の烈風が止んで綠に成る朝の感じは又格別のものである、しつとりとした濕氣を含んだ空氣が如何にも春の感觸を與へると思ふともう森も並木も昨日とは變つて鮮やかな綠に塗られてゐる、如何にも夫れは目の覺める色である新らしい色である、柔らかさうして心躍る色である、冬と風と砂塵とに虐げられ苛まれてゐた有らゆる動物が此の綠の朝を賛じて唄つて居る、森の下には若葉の吐く香りが漂つて淸冽な空氣がシャンパンのやうに胸を涼しくさせる大連の春は綠である大連の春には花の賞すべきものが無い、さりながら此の美しい綠りは花よりも更らに嘆美すべきものである花の春が萌たげて匂はしい美女ならば

若葉の春は凜とした

美少年のそれではあるまいか

大連の春は日本式でなく全く大陸式だ日本人が春を行樂の時として花蔭に唄ひ騷し醉ひ興ずるが若葉の香を慕ひ興じて其の下蔭に集つて來る程の閑人は大連には一人も居らぬ增して若葉の陰に讌の宴を延べるやうな醉人は一人も見受けられぬ春の山登りや野遊やそんな事は大連の人達には全く忘れられてゐる彼等の勸勉勞作は眞に嘆賞に値すべきものである、されど彼等が蘭燈帳裡其處にのみ人生の悅樂と浮世の春を見出さんと心掛けて居る趣味の低劣なるは憐むに堪へたるものであるあゝ慾の血眼には斯んな美しい淡綠の春も映らぬ事であらうか（大連にて長城生）

京城府告示第四號

大正六年度京城府歲入歲出更正並追加豫算左ノ如シ

大正七年四月二十日

朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正六年度京城府歲入歲出更正豫算

歲入經常部

第四款　財產ヨリ生スル收入　金百二十八圓

第一項　衞生基本財產收入　金三十八圓

基本財產收入　金二十四萬八百二十九圓

『第二項』　削除

經常部計

歲入臨時部

第七款　繰入金　削除

臨時部計　金六萬二百七十六圓

歲入合計　金四十萬千百五圓

歲出經常部

第十一款　基本財產造成費　金千六百六十六圓

第一項　基本財產造成費　金五百三十八圓

第二項　產業獎勵基金造成費　金千九十圓

第三項　衞生基本財產造成費　金三十八圓

第十五款　勸業費　削除

第一項　產業獎勵費　削除

經常部計　金二十萬六千五百四十三圓

歲出合計　金四十萬千百五圓

大正六年度京城府歲入歲出追加豫算

歲入臨時部

第二款　國庫補助金　金千三百七十八圓

第九款　積立金收入　金二百五十八圓

歲入合計　金千六百三十六圓

歲出經常部

第二款　土木費　金千三百七十八圓

第一項　道路橋梁費　金千三百七十八圓

經常部計　金千三百七十八圓

歲出臨時部

第九款　市場設備積立金　金二百五十八圓

臨時部計　金二百五十八圓

歲出合計　金千六百三十六圓

▲二十三日後場　大阪[illegible]二十六回三十六錢棧寄未著にて當限二十七錢中二十一錢丁度より後場當限一節二十五錢先二十四錢と同事に寄付二十一錢[illegible]持合の裡にて頭重の氣を示して散會せり　後場當限一節二十一錢二節十五錢十錢〆五錢平均値段十四錢[illegible]

仁川米豆取引所

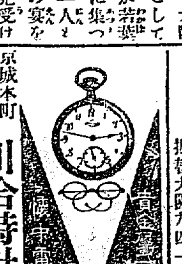
[illegible]

▲一日[illegible]　▲下旬付[illegible]　▲拵めみ　▲俳諧『茶屋』　▲川柳『号駄』

廿四日　廿五日　廿五日　廿六日　廿六日　廿七日　廿七日　廿八日　廿八日　廿九日

[illegible]表後一週間以內に到着の分又は同案發[illegible]見込告者には五十錢書籍券を呈す　但何書何々と明記に限る　▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

▲平和の戰報！
債券月賦販賣法は愈々九月一日より開戰せらるゝと同時に從來の不正業者の利益を粉碎するを保護せらるべし
弊店は確實に顧客の利益を擁護し最も有利の條件を提供して天下泰平を謳歌す
五月　籤　六八號　五、五〇六八甲延賣一四五一　壹通郵貸拾圓卅五錢　貳通組一組（五十五圓）　三通組
はる號　五、六五　一通每初乙延賣
債券　共特別勉强御用命に寶買▲荷爲替即時受拂　送料拾錢を要し候　一券要覽表進呈申込往復葉書
▲要報三白除圖人價付一冊廿錢
小尾兩替店　古大阪市東區安土町堺筋角　電話本局八〇五番　振替大阪九四一四番

京城本町二丁目

川合時計店
電話二九一八　振替京城一三一九

京城の齒科は
岡本齒科醫院
本町一丁目江戶川橫

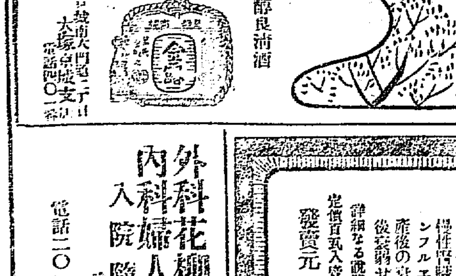
最も完全實用完備の
米麥搗機
天下一品たる本機の賣物廣告の爲め一郡一名限り

己式
麥稻扱機　細機貸附
特約店大募集　說明書送呈
製造元　大阪難波　日本殖產會社

▲▲朝鮮名產▲▲
金剛飴
金剛山
京城本町　電話二七五
龜屋

左官建築材料
セメント、硅藻土、火山灰、左官材料一式、各種色土、布海苔、砂、左官用東京苆、煉瓦用東京鏝、建築材料各種、各種耐火煉瓦、煉瓦土管、コールタール、コークス
卸商　戶澤商店　京城旭町一丁目二七　電話九八四番

鰹節　銘茶　淺草海苔　東京澤庵　印（正）
仁川　青嶋商店
電話七〇九番


運動會觀花見
好い時候に好い酒
醇良清酒
京城南大門通二丁目　大塚京城支店

電話二二七七番
京城（黃金座際）
山田耳鼻咽喉科
福田齒科
醫院

胃腸病とタラコン
昔から胃腸の藥は只だ其時限りの消化を助け無理に胃液の分泌を促し又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收よく好く本統に健全な身體となります急性慢性の胃腸加答兒、胃腸アトニー（胃擴張）、胃痙攣、常習便秘、常習下痢、胃癌、胃潰瘍等の胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種猛烈なる劇藥は如何に頑固な長年の胃腸病でも靈驗卓効があります
（散藥九十錢一圓二十錢煎藥一圓一週九十錢）送料入錢海外二十錢
本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園　（電話小石川二九五〇　振替東京二〇二二）

五月一日初回抽籤六十八回新債券
二千圓籤廿四本
債券拾圓（五拾錢送料十錢）月賦賣初一回五十錢送レ番號通知ス後每月十回ニテ證券ヲ契約中ハ籤每ニ當籤番號明細表ヲ無代贈呈
大阪市北區南同心町二ノ四五〇　振替大阪三五七番　提商會債券部

◉株式取引は如何にすればヨイ乎
◆株式取引とは果してドンナもの乎？
◆如何にせば株式成金となり得る乎？
◆如何にせば株式の損失を免れる乎？
◆株式の出陣の好期は何時がよきか
◆今は何ノ株を買へばキット儲る乎？
以上の疑問を有せらるゝ方は經驗の有無を問はず申込め（無料）にて詳細說明可仕候
東京株式取引所仲買人
沖野商店地方課
東京市日本橋區坂本町十八　電話浪花（長）一九三七、二八五、四四六〇、四五〇七

眼科專門
京城若草町（電車通り若草町新道路中程）
金井眼科醫院
電話一五五六
新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

滋養强壯劑
レグモン
新滋養强壯劑レグモンは京都醫科大學教授森島醫學博士より有効滋養劑として醫界に紹介せられたるものにして、日本赤十字社病院山下醫學士其他多數知名なる臨床醫家により從來外國より輸入せられたるソマトーゼサナトゲンに比して決して劣らざる優秀滋養劑たることを認承せられたるものなり。
レグモンの最も有効なる場合は肺結核、慢性胃腸病、慢性腎臟炎、糖尿病、神經衰弱、虛弱なる小兒、インフルエンザ後の衰弱、腸窒扶斯、赤痢後の衰弱、產後の衰弱、其他慢性病にて衰弱せる人、外科手術後衰弱せる人、並に乳汁分泌量の少き人等なり
詳細なる說明書あり、無代郵呈す、全國知名藥店にて販賣す。
定價百五入壹圓貳拾錢貳百五入貳圓貳拾錢四百五入四圓五十錢
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店

外科花柳病
內科婦人病
入院隨意
醫學士　齋藤勇
醫士　齋藤豐次
京城本町五丁目稻荷座前
大和病院
電話二〇一二番

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第五十四席

入つて來た仲間風の五六人の男○『オイ番公一升懸けて呉んな』番『入つしやいまし、今日は皆さんお揃ひで』○『どうもお前の内は酒が良いのに桝目が安くつて、お負にお前の調子が宜いと來て居るから皆な友達が他家へ往かねえでお前の家へ押懸けるんだ』番『どうも御贔負に有難う存じます、トキに貴所お顔を見る早々恁んな事を申してお氣に障ると困りますがどうか先達ての御勘定をお序でに頂きたう存じます』○『オー忌な事を言ひなさんな、這入る早々催促なぞは嬉しかアねえ、友達の前もあらアな』○『どうも相濟みませんがお貸し申して置くと、他の御方に又お貸し申さなけりやアなりません、もう皆さんにお貸し申すと手前の方がやり切れませんから、ついまアお氣に障らうとは存じながら申上げましたので、今日でなくとも宜しうございますが、どうか先のお拂ひを……』○『心得てるつてエ事よ、此間の勘定はマア今日は借りだ、今日だけはキッチリ拂つて行くから古い事は言ひつこなしにして呉れ、其の中に何うかするから』番『へ、、宜しくお願申します』○『ダガね番公、人間といふ奴は餘り正直にすると馬鹿な目に遇ふ、道に違つた事をした方が却つて通りの宜い世の中だせ』番『冗戯いつちやアいけません、道に外れた事をして宜いといふ訳はございませんよ』○『處があるんだから仕方がねえ、物は上から下へ段々及ぼして來る、上へ立つたお役人が隨分遣つた事をなすつてる其れを此方等が餘り正直にやらかすと惡るからうと思ふから、ソコでマアお前の家の勘定も拂ふのは知つて居るが、マア拂はねえ方が宜からうと恁う考へて……』番『冗戯言つちやア困りますよ、呼んだつてまたそんな考へを起したので……』○『外ぢやアねえがね、實に氣の毒な話があるんだ』番『へエー何んで』○『此間お召捕になつた塚原小太郎といふ劍術の先生、常陸の佐竹樣の御家老で三萬石から取て居た、大した方の息子さんだ』番『成程』○『其れが石牢へ叩き込まれて居る』番『へエー餘程惡い事をしたんですね』○『ナニ惡るい事をして縛られるのは當り前だが塚原といふ人は善い事をして縛られて了つたんだ』番『そんな理窟の分らない事はないぢやアございませんか』○『處があるから仕方がねえ、其塚原といふ人が箱根の山へ懸つて來ると病人が倒れて居る、可哀相だと思つて其病人を介抱すると、何うか人家のある所まで連れてツて呉れといふんだ、固より親切な人だから承知したと其病人を肩に掛けてお前山中の宿の倉賀屋といふ宿へ連れて往つて泊めてやつた』番『へエ成程』○『スルと其晩ポックリ病人が死んで了つた、宿でも恐ろいて何所の者だと聞くと塚原といふ人も固より知らねえ、何か書いたものはと見ると紙入の中に駿府淺間下谷屋十兵衞といふ紙に書いたものが入つて居る、其れから早速沙汰をすると引取人として其十兵衞の倅の十吉と番頭が膽を潰してやつて來て假埋にしてある屍骸を掘出して見ると倅は少し違つて居るといつたがイヤ死ぬと人間といふものは變るもんだ全く十兵衞殿に違ひないといつて就いて國を出る時に三百五十兩の金を持つて出たが何うしたと聞くと宿でも知らない當人は一文も持つては居ない其外に荷物もないといふ譯で』番『……』○『番頭の勘六といふ男が何んでも其の武士が怪しいといつて、飛んでもない災難ぢやアないか其塚原といふ人に疑ひが懸つて山中の陣屋へ訴へたんだ』番『へエー』○『松田大學樣が出張して取調べると其武士が塚原某と名乘つて決して怪しい者ぢやアないといつたんだ』番『さうでございませう』傍に居た秋山伴作、塚原〜〜との話チリ〜〜と席を進め彼等の話に耳を傾けた

赤い羊かん 妾のこゝろ 木村屋名物召しあがれ （京城明治町 電二八七〇）

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會横 安部醫院 電話一九一番

曆

四月廿五日九星 舊三月十五日壬寅 本命六白乾開大安

▲六白● 自ら苦勞を求めんとす[illegible]▲七赤● [illegible]▲八白● [illegible]▲九紫● [illegible]▲一白● [illegible]▲二黑● [illegible]▲三碧● [illegible]▲四綠● 氣の弛む事有[illegible]▲五黃● 一氣呵成の[illegible]

周易 介石堂 明治町二丁目 岡村介石

輕便副業 安全有利の良法を授く 愛知縣神守局區內 西澤久仁

米大的中 運命鑑定 廿年來米商の奥傳を公開す 端書で申込次第 期米の眞理 買賣と成効策 一冊呈 高低通信料一ヶ月六十錢 東京市本郷區 湯島四丁目 神誠館

大募集

演藝案内

有樂館 活動寫眞常設館 電話（階下）[illegible] ユニヴァーサル會社 特約

當る四月十八日より公開特別興行 ▲喜劇 [illegible] ▲米國ユ社 マカジン十號 ◎社會悲劇『不貫の柵』全五卷 [illegible] ◎舊劇『野狐三次』全六卷 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 ◎京阪落語登喜和會一行 [illegible] ▲落語（しん王）▲滑稽掛合（[illegible]）▲落語手踊（遊窓）▲落語手踊（圓彌）▲ものまね（[illegible]）▲落語（しん鏡）▲中入當一派十八番の電氣（小菊）▲落語音曲（歌之助）▲少年落語手踊（[illegible]）▲落語音曲（花丸）▲落語手踊（木鶴）▲大切喜劇

黃金館 電話二三六七 二三六六 [illegible] 當る四月十九日より大寫眞提供 ▲伊國アンブロジオ會社作 ▲悲劇『麗の都』全三卷 ▲新派『伊達の春駒』全十五場 ▲諷刺劇『嶄新なる言語』全二卷 ▲教訓史劇『小楠公』全三卷 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible] 當る四月十九日より大寫眞提供 ▲米國ミュチアル會社作 ▲滑稽チャプリンの替玉 四千呎 ◎新派悲劇『お澄と秋之助』全四卷 [illegible] ◎大活劇『義勇兵』八千呎 [illegible] ◎舊劇『仙石騷動』全四卷 [illegible]

價格 參千五百圓

『八五フオア』に乘れ！

是れ美にして強き自動車也 其行動は絶對に信用さる 其偉大なる力は簡易なる方法に依りて制御され居る也

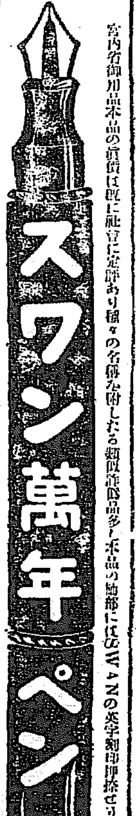
此オーヴァラント自動車は大自動車の力を以て小自動車の輕妙を發揮す

此長所に加ふるに乘心地善し 大なる車輪と太きタイヤ カンチレヴァ スプリングは其行動を平坦ならしむ 是れ此形の自動車には稀に見る處也

磁力強く附屬品完備 維持費安し 容姿端麗 行動輕快以て傲りとなすに足るべし 製造高多きを以て之に乘る體力 財力共に餘裕綽々たるものあるべし 吾人寡聞にして未た斯の如き調法なる自動車あるを知らす

ゼー エッチ モーリス
京城府貞洞拾九番地

ウィリス オーヴァランド會社
米國オハイオ州トレド市



宮内省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多く本品の胎部にはSWANの英字刻印押捺せり

到る所の文具店に目下發賣 販賣中買ふ人の德な時 最寄販賣店に乞御用命 目錄無代進呈 大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

飲み初めたら永久にやめられぬ
一番おいしい葡萄酒
○蛇の目印ポートワイン
逞しき筋骨・整頓せる體軀・活々たる顔色
これらの健康美は凡て愛飲家の獨占なり
全國到る處の和洋酒食料店及藥店に販賣せり

定價壹瓶 金七十五錢

内科 胃腸病 診察夜九時迄 黄金町一丁目 石川醫院 電話一二七二九番

ヒゲタ醬油 銚子港 田中玄蕃釀造
代理店 櫻正宗發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

内科 眼科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通（電車停留所前） 本田醫院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三二八番 入院隨意
肛門病の話 痔疾持病注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

汽車

京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京釜連絡 京義線（北） 同（南行） 京元線 京仁線 京仁線（仁川行） 京元線（北行） 同（南）

[illegible]

第五版

京城日報

二十四日朝刊（朝夕刊こ併せて八頁）

本紙定價　▲一部金三錢　▲一ヶ月金五十五錢　▲三ヶ月金一圓六十錢　▲六ヶ月金三圓二十錢　▲一ヶ年金六圓二十錢
廣告料金　▲五號活字一行金八十錢　▲四號活字一行金一圓　▲三號活字一行金一圓二十錢
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話（編輯局）三四五番　（營業局）一二四番　振替貯金口座京城三〇〇番

遊支偶錄

（八六）多大の希望　蘇峰生

若し予をして支那漫遊より獲來れる、所懷の總てを語らしめん乎、『遊支偶錄』は、殆んど際限なかる可し。故に予は姑らく此に閣筆せんと欲す。蓋し今遊の日程、八十六日なれば八十六回にて、打止めとするも、因由なきにあらじ。

但た最後に一言せしめよ。記者の今遊は、多大の希望を與へたり。即ち支那は懐舊弔古の老大國として取り扱ふ可きのみならず、世界に於ける、活ける古代文明の標本を提供する、一の偉大なる博物館視す可きのみならず、亦た今日及び將來に於ける世界の大舞臺に、其の役目を働らく可き、偉大なる邦國として、取り扱はざる可らざるを感じたり。

予は支那人の、政治的能力に就ては、餘りに感心したりと云ふ能はず。されど彼等は多くの意味に於て、偉大なる國民たるを失はざる也。一方より見れば、老幹朽腐するも、他方より見れば、新芽萌々として、宿株より發生しつゝある也。如何に多くの缺點を控除するも、支那人は東亞に於て、偉大なる人種也。東亞の大局を料理せんとするには、支那人を除外しては、何事をも做す能はざる也。吾人は此の見地より、中心日支の親善と、提携とを望まずんばあらず。而して兩國の識者にして、若し一たび興亞の大經綸に想到せば、彼等を驅りて、反目、敵視せしめんとするも、豈に其れ得可んや。

老子、孔子の世界的大宗師を出したる國民、管仲、唐太宗の如き、大政治家を出したる國民、六經、四書、諸子、百家の思想界大產物を出したる國民、萬里の長城を築き、江南より北京に至る大運河を鑿したる、世界的大工事を成就したる國民は、豈に今後に於て、一の爲す所なくして、空しく白人の奴たるを甘せん哉。日支親善の訣は、何より先づ亞細亞人たる自覺にあるのみ。（大正七年二月廿三日於青山艸堂）

東京より　在京一記者

北京記者團の來遊に就て

○歐洲に於ける西部戰爭正に酣にして國際政局將に一大變化を生せむとする時に際し北京の新聞記者團諸君が、日本觀光の途に上り、今や其の入京を迎ふるに至りたるは、吾人が日支提携の前途の爲に喜ばざるを得ざる所也。

○歐洲大戰の勝敗如何は、今日に於て豫め斷言す可からずと雖も此の大戰を新紀元として、國際競爭の中心點が亞細亞大陸及び太平洋に移りつゝあるは、經世家の斉しく豫測して疑はざる所也。獨逸は露國の分裂を機として、西伯利方面より東邦に進出すべく、米國は、戰時中鋭意して建設したる大海軍を利用して、太平洋の商權を掌握せむことを期すべく、英國は戰後の損失を醫せむが爲に、支那大陸に向つて雄飛を試むべく、佛國も亦其の競爭に角逐するに至るべきは必然の勢也。此時に當り、此の競爭の十字街頭に立て西力東漸の勢に抗し、世界列強の雄を爭ふの道は日支兩民族の提携一致を圖るに在るのみ。若し日支兩民族にして其の感情隔離し、其の意志睽離し、提携一致する能はずむば、亞細亞の振興得て期す可からず、東邦永遠の平和得て期す可からず。故に今日に處するの策は、日支兩民族互に其の自覺的精神を發揮し、世界の大勢、東邦の將來に鑑み、徹底的に日支提携の實を擧ぐるより急且切なるは莫し。

○日支提携の實を擧ぐるは、日支兩民族をして政治的に經濟的に團結せしむるに在り。日支兩民族をして政治的に經濟的に相團結せしむるは、即ち日支兩國の人士互に相接觸し、互に相往來し、精神的に意志の疏通及び諒解を圖るに在るのみ。若し夫れ日支兩國の人士にして意志疏通せず、互に相猜疑し、區々たる小感情に走りて大局を忘るゝが如きあらば、日支の親善提携遂に期す可からざるのみならず。西力東漸の局勢に對し國際競爭の大勢に對し、安ぞ之と競爭するを得む哉。然れども、日支兩民族の一致團結を圖り、日支提携の實を擧ぐるは未だ嘗て國民の先覺者たり、指導者たる日支新聞記者の責任たらずむばあらず。吾人は此點に於て日支新聞記者の責任の極めて重大なるを感じ、北京新聞記者團諸君が、先づ日本の新聞記者と相提攜して、其の責任を竭すに遺憾なからむことを切望せずむばあらず。

洪國內閣更迭情事

墺國首相ザイドラー氏の辭職に次きて洪牙利內閣も亦總辭職しチッサ伯ウエッケレ伯に代つて首相に任せられたる旨外電ありしが其筋には未だ入報なき由同內閣の辭表は昨年も提出されしも辭職には至らざりし也洪牙利には元來同國本系民族のマヂアール種とクアチア、ダルマチア、スラヴオニア等のスラブ系との間に常に政爭あり此間に處して露國は常にスラヴ系を煽動し國內の騷擾を惹起せしめつゝありしが露國ロマノフ朝の崩壞と共に本系マヂアール種が墺國と共に親獨主義を以て擡頭し來りし事實ありウエッケレ伯の內閣必ずしも政情より見て不適たりし特殊の事由も無けれども若し今回チッサ伯が起てりとせば一層親獨の色彩を濃厚ならしめん爲なるべし殊に墺洪兩國を通じての外相ツエルニン伯の親籍問題より獨逸に對する責辭職に次で首相ザイドラー氏も辭職したりし前後の事情は又た親獨の強き勢力の下に墺洪國の政情を誘致するにあるは明白なれば此際特に聲望手腕あり且つ親獨派首領たるチッサ伯を洪牙利首相たらしむるもの當然なるべし前首相ヴエッケレ伯の內閣が薄弱なる內閣なりしは既に周知せられ居る所墺國と分離せしめし洪牙利の軍制案及前述兩人種が權利の上に爭へる選擧法改正案の爲めに常に惱まされ居りしが今や獨逸か西部戰場に懸命なる活動を爲し將來一層獨墺の鞏固なる提攜を要する時局に際し此の更迭を見るに至りたるならむ（東京）

小公園を多く造れ　山縣生

○我京城は南山の公園を有する事を以て大なる誇りとなすを得べし天然の美と廣大なるとに於て帝國第一といふべく、近來當局の配慮と努力とにより道路が開かれ、櫻や楓が、數多く植栽され、頗る面目を改めたるは誠に慶賀すべし。我等は既に之を有するが故に、此上大公園の開かるゝを希望する事を敢てせぬ。

○然しながらパコダ公園の如き小公園がいくつも設けらるゝ事は京城住民の總てが希望する所であらう。春の朝夏の夕パコダ公園が如何に多くの人を惹きつけ、如何に多くの人が其處に休安を得るかを考ふれば、斯の如き小公園の京城住民に與ふる利益の如何に大なるかは直に察せらるゝのである。

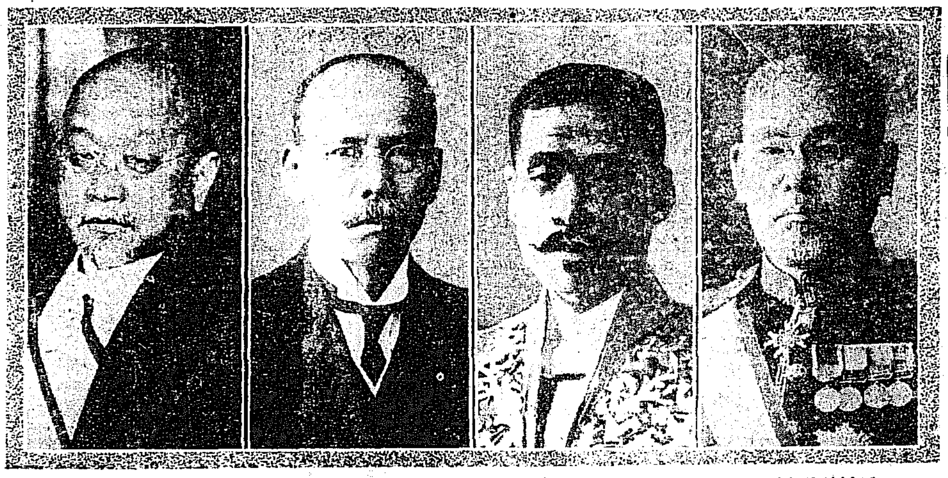
○パコダ公園は元ハ韓國政府時代に關稅の事を司りしブラウン氏が附近の民家を買收して、地を開き、樹木を植ゑて開きたるものであるといふ。ブラウン氏の我等に與へたる恩は、倭城臺なる總督府の裏の溪間に櫻を植ゑたる兒玉伯のそれと等しく我等の忘るべからざるものである。

○京城は次第に繁榮に赴き、大家巨屋軒を並べて、やがて尺寸の空地を餘さぬ大部會となるであらう。かゝる大部會の美觀を保ち、爲めに又住民の健康の爲に最も必要なる設備の一はパゴダ公園の如き小公園である。かゝる小公園はとりわけて兒童の遊戲場として是非とも無くてならぬものである。土一升金一升といふやうに、地價の上らぬうちに、成るべく多く小公園を造つておきたいものである。

○これにつけても思ふは明治町に在る李王職所有の廣大なる空地の處分である。李王職では此土地を賣りに出したといふことであるがまさか李王職では此の土地を賣らねば經濟が立ち行かぬといふ程に貧乏はして居まい。此土地を賣て得る所の金は李王職にとりては何程の足にもなるまい。そんな陋な事をせずと、其處に小公園を造り之を京城府に寄附しては如何。然すれば市民は永く其恩惠に浴して李王家は積善の餘慶を得るの喜びを得るであらう。

○大漢門及び朝鮮銀行の前に在る空地にも樹木を植ゑ、泉を設けることが出來たならば、如何に市民の幸福が增すであらう。現在のまゝにしておくは徒に砂塵を捲き起すばかりである。

○西洋では近年庭園都市の運動が頗る盛で、巨萬の金が公園の新設に投せられつゝあつた。今は戰時中であるから、此運動は中止にな



新任外務大臣 後藤新平男　新任內務大臣 水野錬太郎氏　新任鐵道院總裁 中村是公氏　辭職せる外相 本野一郎子

順化院を見て（二）　槐翁

○順化院を訪ねて、誰でも一番先に首肯くのは、その場所の好いことであらう。仁王山を背にした、東向きの日當りのよい町で、昔は班や學者の屋敷が、皆なこの界隈にあつたと云ふ話である。道理でその邊を流るゝ水は玉の如く、町の名も玉洞となつて居る。伯爵李完用氏の邸宅が、直き其隣りで有名な松石園も、そのつひ近所にある。兎に角病院として、最も相應しい空氣の好い處であることが知れる。

○現在では、四十八人迄の患者を收容し得る設備になつて居る。裏手の温突まで使用すれば、優に五六十名は收容し得られるやうだ。この病院の特徴は、傳染病專門であること、消毒の嚴重なこと、醫師も看護婦も獻身的であること、其他凡ての遣り方が徹底して居ることであらう。山口現院長は二度病氣に感染し、前看護婦長は、感染して遂に犧牲になつたのである。

○この故に、この病院は消毒が實に嚴重である。病室毎に消毒の設備があつて、一寸手を動かしても消毒をする。口には常に消毒布を被ふことになつて、食事の如き食堂の外は一切禁じられてある。充分に消毒した室が、病室と離れた場所にあるのが食堂で、これに入るには、誰彼の別はない、嚴重に消毒を受けねばならぬ。

○入院患者の一人は『順化院は丁度爆彈上の仕事と選ぶ處はない、自分は、是れまで官公私立の病院を見たが、犧牲的精神を以て、獻身的に遣つて居る處は、曾て見たことが無い。これには宗教上の美しき信念がなければ、到底も出來ぬことだ』と入院の感想を述べて居たが、此の一言で、順化院の眞の精神が窺はれる。

○叙上の如く、順化院は傳染病を專門的に取扱ふ處であるから、他の普通の病院とは異つて居る點が非常に多い。其異つて居る點こそ避病院としての生命で、それが殊更らに難有い處であらねばならぬ。動もすると取扱が亂暴だの、まるで監獄のやうだのと憤慨する人もあるさうだが、この嚴格な處が親切な處で、彼れ此れ云ふのは間違つた皮相の考へと謂はねばならぬ。

一層興味あるものたらしむ即ち最近英國に於て船舶の頻繁に賣買せられつゝあり思ふに向後の船舶業は戰前と其趣を異にせん現にマ[illegible]前相當の成績を[illegible]蘭西部に於ける一流の會社で知られたるものなり斯[illegible]實に船舶が讓渡會社の解散せらるゝ所以[illegible]ずべきことを見越したるに依るが如し戰後船舶傭賃は如し船主にして需要供給の原則に依る運賃を自由に所得する事を得るに於てはしと觀測し自由競爭の下に於て收め得べき利益を收め得ざる可しと爲し將に船舶賣却を決行するに至

[illegible]で使用人員は總督内地人三十名鮮人十名直營十八箇所の鑛夫百十人呼べり德大二十七箇所の鑛夫五百人なるなりしも採鑛開始以來鑛夫其他各[illegible]十錢中圓五十錢下三圓四十錢を[illegible]間僻陬無人の境域[illegible]

●大豹を生捕る　全北任實郡屯南面品樹里の獵師權基宗（五〇）は去る[illegible]日午前十時頃任實郡聖壽面旧訪里朝時に於て長さ六尺三[illegible]

●盟休退校處分　大阪桃山中學同盟休校の首謀生四名は今回退校處分を受けたり（大阪電話）

▲双眼鏡▼
◎十五形 六枚玉 金十二圓
◎十三形 六枚玉 金十一圓
送料鮮内十二錢 外三十錢
石僅少荷
京城太平通電話局構内一六番
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

四月二十一日より四月三十日まで
南大門より龍山より 倉洞行往復切符發賣
三等 四十五錢　二等 八十錢
五枚以上の御申込に對しては南大門龍山兩驛より直ちに配達す
牛耳洞 加五里 觀櫻臨時列車運轉
四月二十八日（日曜日）に限り南大門倉洞間に
ゆき　南大門 午前 八、五〇　龍山發 同 八、五九　倉洞著 同 九、三八
歸り　倉洞發 午后 三、四五　龍山著 同 四、二九　南大門 同 四、四〇
臨時列車は雨天の場合は中止
南滿洲鐵道株式會社

官衙諸學校の御指定を受けたる三省堂の四大辭典

◎二男爵十博士共編　大增補 模範英和辭典
本書出版以來既に二十版發行部數將に六十萬を超ゆ以て本書が如何に内容の完備正確なるかを知るべし、昨年更に最新科學語の大增補をなし現在我英語辭典に於て語數豐富にして最新語を網羅せる事本書の右に出づるものなし
總クロース製　紙數二千三百十頁　定價金二圓三十錢　送料内地金十二錢　滿鮮臺支金十八錢

◎井上十吉先生著　新譯和英辭典
我國唯一の和英辭典のオーソリチーなり版を重ぬる事二十七版、是本書が語數多く譯例の豐富なるが爲なり、本書を手にせずして英學に志すは恰も羅針盤なくして舟をやるが如し速に一書を求められん事を乞ふ
總クロース製　紙數千八百九十頁　定價金一圓八十錢　送料内地金十二錢　滿鮮臺支金十八錢

SANSEIDO'S VEST-POCKET ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

（袖珍英和辭典の縮圖）
▲印刷の技巧は其極致を表はし
▲編輯の内容は其最善を盡くし
▲裝釘の外觀は其善美を極はめ
▲價格の低廉は新記錄を作れり
株式會社 三省堂　東京神田　振替東京三一五五五

◎神田乃武先生 金澤久先生 共編　袖珍英和辭典
去秋出版以來忽ち八萬の部數を賣盡せり即ち體裁の優美携帶の便にして内容の豐富なる是最新技術を應用せる寫眞凸版の縮小なるが爲なり、寫眞圖の如く僅に掌中一握りの辭書なるが爲電車内に校庭に本書を所持せざる士なし
裝釘 總革 天金　縱三寸六分　横一寸九分　紙數九百餘頁　定價金八十五錢　送料内地・朝支臺共四錢

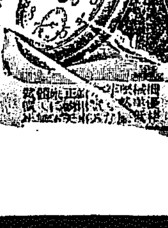
◎神田乃武先生 新渡戸稻造先生 頭本元貞先生 監修　三省堂編輯所編纂　新々英和辭典
發音學三大家多年苦心考案の下に發音を假名にて完全に表す事を得たるは實に我英學界の一大劫績にして本書の誇りとする所なり、英語獨學者の好指導者たるは勿論近年各學校より初年級用として本書を指定せらるゝに至る
總クロース製　紙數千四百七十頁　定價金一圓四十錢　送料内地金八錢　滿鮮臺支金十二錢

新學期に際し最良の辭書を撰ぶは智者のなす業なり
滿鮮一手特約　大阪屋號書店　京城本町一丁目　振替二五七三番

星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質こ賣行こに於てソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

イングレッシー商會
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
本店京城本町二丁目 電話九七二

新荷著　懷中時計
アンクル提げ 懷中時計（▲印はクエール入）



◎印度國民大會の打電

英國首相及び印度總督に對し

印度國民大會は英國首相ロイドジョージ氏及び印度總督ジェームスフォード卿に打電して曰く『首相の卓勵的諭告及び總督の全幅的懇諾は吾人の感情と全く相契合す印度のみにても五百萬乃至一千萬の兵員を供給するを得本大會は印度の資源を政府の任意處分に任す』(倫敦電報)

◎ダ市徴兵反對運動

愛蘭ダブリン市に於ける徴兵反對運動漸く具體的となれり當局は叛亂の再燃を排壓する爲め嚴戒を加へつゝありと(倫敦電報)

◎段總理一行漢口著

段總理は二十一日午後八時三十分漢口譴禮門停車場に到著し王占元、曹錕氏等の出迎を受け直に曹錕督軍の司令部に入りし由にて隨行員には曲同豐、梁泰、綿氏等あり同地には滯在僅に一兩日なる可しと(北京特電)

▲警固頗る嚴

段總理は廿一日夜は列車内に宿泊し二十二日朝に至るも出でず列車と停車場と曹錕司令部との間には寸隙も無く兵を派出し警固頗る嚴なり氏は別に宿所を定むるや否や不明なり(漢口電報)

◎南軍逆襲

陸榮廷氏の援軍六千は衡州に著し南軍逆襲に轉ず(北京電報)

◎政客聯會

全支那政客聯合會は二十一日天津に開會せり(東京電報)

◎兩相總裁更迭

天皇陛下には二十三日午後三時鷹司侍從長松方内大臣侍立の上親任式を行はせられ左の如く任命ありたり

内務大臣男爵 後藤新平
任外務大臣

内務次官法學博士 水野錬太郎
任内務大臣

鐵道院副總裁 中村是公
任鐵道院總裁

▲本野外相辭職

右と同時に左の如く辭令ありたり(東京特電)=號外再錄=

外務大臣子爵法學博士 本野一郎
依願免本官

▲親任式

二十三日午後三時宮中表御座所にて外務、内務兩大臣及び鐵道院總裁等の親任式を行はせられたり此日新任外務大臣後藤新平男は午前中は定例閣議に列席の例に依りて首相の代理を務め午後一時一先づ内幸町の官邸に下りモーニングを燕尾服に著替へ同二時五十五分急遽參内せり一方水野新任内相中村新任鐵道院總裁は何れも燕尾服に勳二等の勳章を佩用し同二時四十分參内し早や新外相の參内の遲きを待ちつゝあり軈て定刻に至るや　天皇陛下には德川侍從長を隨へさせられ表御座所にて主席大臣加藤海相侍立の上莊嚴なる親任式を行はせられ後藤外相、水野内相、中村總裁等に親しく辭令を授け賜ひ同三時二十分親任式終了と共に相携へ退出せり(東京特電)

◎次官等後任

水野内相、中村總裁の後任として内務次官に小橋土木局長鐵道院副總裁に中部管理局長長尾半平氏昇任を見る可しとの説あり(東京特電)

◎二月元山經濟

大豆は月始に於て餘りの急騰に需給者共兎角手控勝に陷り氣迷の姿なりしも[illegible]有りしため相當資金の需要を見たる向出合のため移入杜絶の状態にて需要各地相場又元山と平均せしを以て活況を呈し北鮮へ向け多額の移[illegible]らる可き日本海横斷航路に依り裏日本に向け輸出せんと計畫する向[illegible]如く鮮島物に至りては依然相場不振にて久しく沈靜裡に在りしも米及[illegible]絲綿の硬勢に連れ減切り一變し[illegible]

◎醫科大學長病院長の選擧

東京帝國大學醫科大學にては二十二日午後一時教授會を開きたる結果學長は佐藤三吉博士を大學病院長には三浦謹之助博士を選擧の上大總長に具申せり(東京特電)

◎石井大使著米

新任米國駐劄石井大使は二十一日桑港に到著せり(桑港電報)

◎京都市案通過

京都市の工業學校案に就き豫て府市の間に於て軋轢を來し居りしが二十二日の市會にて十五對十八にて市案通過せり(京都電報)

◎沿海州參謀總長大連行

露國沿海州參謀總長ドマギフスキー氏は令孃及び副官二名と共に二十三日朝奉天通過大連に向へり(奉天特電)

◎朝鮮林野調査會決定

朝鮮總督府林野調査委員會官制定の件、關東都督府に臨時職員增置の件は愈々二十三日閣議を以て決定したり(東京特電)

◎滿鐵社債好望

滿鐵社債申込額既に六百萬圓を超へ頗る好望なり([illegible]電報)

◎爲替銀塊相場

二十三日入電=支那爲替は依然同樣保合倫敦銀塊は一片方騰貴せりと(大阪特電)

◎福原司令官安東行

原獨立守備隊司令官は二十二日夜來奉直に安東に向へり(奉天特電)

◎廣東軍政府と東三省

奉天督軍張作霖氏は武力解決を主張し部下軍隊の一部を遙かに南下せしめたるが廣東軍政府は其の空虛を衝くべく計畫し盛天爵、居正の兩氏に銀十萬元公債七十萬元を提携せしめ北向せしめ殘存軍隊を煽動し地方土匪と相通じ以て東三省の擾亂を企圖し盛は既に上海に入り居は靑島に到り着々計畫を進め大連には頭來是れが機關の設立を終了せりとの情報ありたるより督軍公署及び陸軍部は去る十九日急遽各官署並に部下軍隊に秘電を發し一帶の戒防警防を嚴重にすべく訓令を發せり(安東縣)

◎鮮鐵輸送繁忙

當分引續くべし

滿鐵朝鮮線内に於ける穀類を主とする出貨は最近と雖も多く衰へず内地仕向貨物の停滯三萬噸以上を越へ居る外朝鮮線内の發著分滯貨亦三萬噸に及び合計六萬噸以上に達し居り各驛の滯貨にして一小部分の輸送を終了し倉庫野積場等の餘積を生ずれば直ちに充塡する有樣なるが之れによつて見るも本年朝鮮に於ける地主の穀類貯惜しみと其の出貨力の强靱なるを知り得べく例年四月に入れば鮮内鐵道滯貨の一掃を見るも本年は當分停滯を續くる有樣にて鮮鐵の輸送は當分繁忙を呈すべし一方滿洲線より内地に向ふため朝鮮を經由する大豆粕も少なからざるが鮮内の滯貨に阻まれて其の疏通は仲々困難なるから現に安東に於ける南下大豆豆粕の停滯は夥しきものあり又仁川に於ても山東鐵關東州鐵の貨物甚だ多しと

◎日本海航路競爭

阪神朝鮮間貨物輸送系統變化傾向

朝鮮郵船會社の日本海橫斷航路は總督府の命令により平壤丸を以て四月一日より開航し既に第二次の航海を終り正に

▲第三航

に就かんとしつゝあるが一方原敦せし神戶組合汽船會社經營の日本海橫斷航路は大保丸を以て一月三回敦賀と北鮮間に航行しつゝあるため現に競爭の姿あり運賃の如き朝鮮郵船會社の現行率は當局の方針により頗る低率に認可されしが大保丸も略同額の運賃に引下げ兩社の競爭は現在の儘推移せば漸次猛烈を加へ來るべしとの說あり唯朝鮮郵船は命令航路にして一年約三十萬圓の

▲補助金

を受け滿船すると稱するも組合汽船側にては一種の目的を有するもののごとく當分兩社の並行は免れ難き狀勢にあるものゝ如し尙ほ兩社船が日本海航路に就航し居れるため北朝鮮と阪神間航路の發著狀態變化傾向を呈せんとするは注目に値す乃ち組合汽船の大保丸は貨物

▲九百噸

の積載力を稱し月三回航行するものとすれば北鮮の貨物二千七百噸を運ぶの力を有し牛壤丸は七百噸の積載力にして二回半とすれば一千七百噸を運送し得合計一月四千四百噸の輸送力ある譯なり而して北鮮各港より日本海を橫斷し敦賀經由阪神地方に發送する運賃は釜山下の關經由阪神に仕向くる運賃より約二三割方低位にあるため北鮮各港積出しの阪神行き貨物は阪神直航を去つて漸次日本海橫斷航路に集まらんとする模樣あり現に大阪商船朝鮮郵船の

▲阪神航路

の如き四月以來其の影響を受け淸津城津元山より此の積貨は減少の狀態にあり而して此の狀勢は夏時に入り出貨減退せば著しく目立ち來り或は兩社阪神航路の就航船變更の必要を見るに至らずやとも說く人あり

◎關釜連絡改善

幡生に貨物艀繫留所設置

鐵道院にては逐年關釜連絡貨客の增加に伴ひ現在下關驛構内の狹隘にして連絡上の不便少なからざるものあるに鑑み豫て幡生附近の海岸を相し關釜連絡貨物艀繫留所を設置し同時に幡生驛に大操車場を設け以て之に備へんとの計畫にて既に下關幡生兩驛間貨物列車專用線の敷設を了し又幡生驛構内を擴張し貨物車二列車即ち百輛を收容すべき車庫の建設中にて近く竣工の筈なりと

◎大阪だより

▲晒粉業困難

晒粉製造業は一時旺盛を極め相當の利益を收めたるが製造業者の增加に伴ひて競爭烈しく昨今原料の昂騰甚しきにも拘らず市價は三十八圓五十錢を保合ひ居りて採算上不合當を免れざる爲め製造中止せるもの尠からず需要も亦多少減退の傾向を持し居れる爲め同業者の前途は樂觀を許さゞるものありと

▲グリセリン低落

グリセリンは一時軍需を氣構へて思惑筋の買進みと賣惜みの爲め斯く昂騰したるも今は氣配軟弱となり二圓五十錢と低落し手持筋が賣放ちたる爲め市塲在荷豐富にて目先尙弱含み居れり

▲鐵材相場强硬

鐵材は米國禁輸後亦未だ捗々しく進まず一方印度銑も輸出禁止となり目先鐵鋼の不均衡を來さん事明白なるが銑鐵は槪して强硬の氣配なる中にも板物の分厚物は漸次出現なるが市塲の思惑取引は依然旺盛[illegible]價に一屯に十圓前後を唱ふるもあり鐵材昂騰の趨勢が益々旺なるべしと

▲生糸高と絹織物

前年來機業界は絹織物の不振に反し絹物は非常の好況を示し機業者の利益は莫大なるものありしが春來生絹空前の高値を現はし絹物相場と殆んど同一の値鞘關係となりし爲絹を準備しつゝある機業者は影響なきも賃需機業者は原料高に大打擊を被り目下休業中のものも少なからざるが第二回米國禁輸中にも生絲羽二重を除外しある爲め近頃羽二重相場も昂騰に向ふ方解絲を原料とする銘仙物は絹布相場暴落の爲め急に銘仙類も需要仕向けられ思はざる好況を呈し居れりと云へり

▲陶器禁輸影響

陶磁器は米國禁輸の結果一般陶磁器業者の影響少なきを以て内地向も强含みにて漸商の趨勢なるが殆んど全部の禁輸の大打擊を被りたるは森村組經營の日本陶磁器會社にして同社は米國紐育を始め各地に支店を設置して獨逸品と競爭して對抗の勢を爲し名古屋工場にては約一千萬圓の産額を有し輸出陶磁器の大宗たりしが米國禁輸の方針は精良品を重ずる結果日本陶器の影響甚しく米國輸出陶磁器は支那、印度、南洋、濠洲方面の需要品を製造すべきかに就き目下研究中也(大阪)

◎新航開始狀況

計畫航路多數

[illegible]依りて經營され居たるが之等諸國の船舶は戰爭開始後漸次脫退若しくは脫退せざる迄も著しく其の[illegible]

▲汽船數を減少したる[illegible]定期的航路の主なるものを徴するに郵船會社は日本坂西土耳其線の二線路南京丸、セレベス丸の三隻を配船し[illegible]開きて前者にシヤトル丸、タコマ丸、布哇丸の三隻後者に巴奈馬丸[illegible]ヤワ線谷線には瓢州丸、滿州丸の二隻を配船し居れり[illegible]んど枚擧に遑あらざる程の數に上[illegible]

◎大豆採種成績

京畿道大正六年度施設大豆採種田成績を聞くに施設箇所八十箇所反當平均收穫八斗九升面積二十五町餘反當收量對想定額步合一割四分八厘强實收量二百廿九石三斗なりと

◎鮮銀券發行高

前週末に比し本月二十日現在朝鮮銀行券發行高は六千百六十二萬五千百六十五圓小額支拂手形百三萬一千八百二十圓、合計六千二百六十五萬六千九百八十五圓にして之を前月同日の發行高に比するに銀行券に於て七十萬四千百九十圓の減少支拂手形に於て六萬二千百二十圓を增加せり

◎醫師試驗日割

總督府醫師試驗は來る五月一日より十三日迄總督府醫院内に於て左の日割を以て施行すべし

第一部 一日午前十時物理學午後一時より化學二日同解剖學午後同生理學三日午前藥物學六日午後成績發表

第二部 七日午前病理學午後外科學八日同內科學九日同眼科學午後婦人科學小兒科學十日成績發表

第三部 臨床試驗日割は追て發表

◎永沼中將講演

鮮滿在鄉軍人狀況視察の爲め出張中なる在鄉軍人會理事永沼中將は二十四日新義州分會、十五日平壤分會二十七日京城分會の日割を以て視察及び講演を試み二十七日午後入京翌廿八日午前九時卅分南大門小學校に於て講演を爲す可しと

◎京城軍人分會總會

京城在鄉軍人分會にては二十六日夜評議員總會を開催し永沼中將講演の件及び二十九日入京の筈の本鄉聯隊區管內將校團歡迎其他に關し打合を爲す可しと

◎三島理事歸京期

株主總會出席の爲め東上中なりし朝鮮銀行理事三島太郎氏は二十四日南大門驛著列車にて歸京の筈なり

◎阿部支店長來京

朝鮮銀行大連支店長阿部秀太郎氏は行務を帶び東上中の處歸任の途次二十四日朝來京すべし

人 消 息

▲鈴木[illegible]氏(東京市河組技師) 廿三日夜入京京城旅館へ
▲野崎定利氏(横濱貿易商)▲野崎一郎氏(横濱貿易商) 同上

◎百鬼百態

昨夕刊莫斯科電報に據ると過激派軍の頭目コルニロフ將軍が過激派軍と戰鬪中砲下の兵卒の爲め殺戮されたとある▲レニン、トロツキーの土當時の露國革命に反抗して風雲を捲起したケレンスキー敵へ無も一敗地に塗る、や勢頭裝を執つて過激派に反向つたのはコルニロフ將軍である▲將軍の雄圖途に過激派を倒すに至らず中途にして空しく長逝するに至りしは過激派に取つては此の上もなき幸ひであらうが之れが爲め今後反過激派の活動に著しき支障を來すか否かは疑問だ▲否露國過激派昨今の狀態は外患より内憂の方が以上大なるものがあり生活難の聲は日一日と高まつて來るが我々國民は此の際之れが救濟策を唯政府にのみ倚つて求めやうとするのは不可ない▲國民自身にあつても大に對應策を樹て以て安定の方法を講ずるが可い▲假令ば購買組合組織の如き屆强なる一例で歐米各國では斯の種の組合に依つて物價高騰の調節を圖り而も有効なる結果を齎らしてゐる

漢城觀櫻　服部江南
臺上櫻雲雞鬻曉。滿城留恭一時新。風前花白人紅臉。只見春天萬古春。又
紅○紅欲又紅霞。春遍山巔與水涯。最是貴王家氣足。花開邊塞飾皇家。

□號外配布 廿三日夕『兩相更迭』の號外を發行し鮮滿各地に配布した

◎支那人の災難

二十三日[illegible]

電機學校講義錄
講義錄代價値上 講習料値上 四月入學者より値上 但し四月中入學者に付ては特別の詮議にて前金額に對しては値上せず ◎校外生値上せず
隨時入學 規則書ニ錢 料送付す 東京神田區錦町三丁目 電機學校

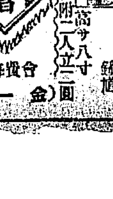
講談落語 娛樂世界 五月號
□本能寺夜討……柴田馨
□新講談 鐵腕……大谷内越山
□平州綺談 櫻木の歷史 變な小間物屋 カフェーのお茶 ◎怖い家へ來た女 ◎總に狂ふ旅役者 ◎大に氣ばれ、妻
▲呪ひの力(小說)江見水蔭
▲電話の混線(落語)三遊亭圓右
▲檜山騷動(新講談)一龍齋貞山
□小說 狂ひ扇……田村西男
□怪談 鳥森吉殺……伊藤紫零
▲二子石重三郎(講談)……江戶川清穗
▲締込み(落語)……柳家小さん
▲つるへへ(落語)……馬生
□雲切と因果小僧の出會……悟道軒圓玉
□忠彌と伊豆守……桃川如燕
□美しい足僧の懺悔 ◎故鄉に老ゆる女 ◎世にも哀な女物語
□新案金儲の法 ◎ローンーの行方 ◎美神宗ローマンス
◎大懸賞發表及募集……賞金莫大
定價 金二十錢 郵稅 二錢 東京市京橋區南傳馬町 娛樂世界社 振替東京三八四四番

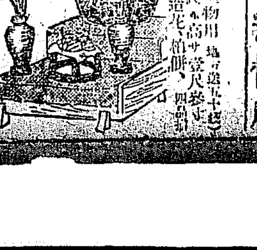
魚釣具及網卸賣
鳥用カスミ網各種あり(御注文に應じて製作す)
京城永樂町三丁目 小賣 吉備商會 電話三一一番 振替京城四三八番

女學世界 五月號
□女學講話 □實業文藝……
若き婦人の惱み……
若き婦人の惱む……大隈侯爵
◎結婚は幸福の基……田中孝子
◎嫁ぐ若き人々へ……田中静江
◎私の悲しき思ひ出(懸賞)……
笑顏をたしなめる惡魔……
◎歷史小說 河內の浦……白雲洞主
◎史話 流口と櫻宿……平井晩村
◎拔き書き……岡田八千代
小說 陽炎……佐藤紅綠
定價 金貳拾參錢 郵稅二錢 東京本町 博文館 振替東京二四〇番

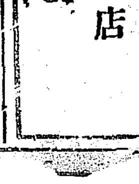
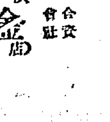
法人登記
京城地方法院 開城支廳
開城地方金融組合ハ大正七年四月十日主タル事務所ヲ左ノ處ニ移轉シタリ
京畿道開城郡松都面大和町二七
右大正七年四月二十日登記

朝鮮總督府
朝鮮總督府 ...四月二十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
一、細粗布 ...
朝鮮總督府
一、敎科書表紙用 ...




三圓の景品
陶器を毎月配送大景品付
不用の節は進物用に仕上送品
(セトモノ配送會)三銀好評の珍品
會費毎月 金一圓
壹人立(一圓半)人物附二人立二圓 高サ八寸
錦繪 木彫 風流の…
此一揃でお節句のお祝ひが出來升
新橋 三銀
東京

購買公告
一、…
右納入希望者ハ詳細當部臨時建築科ニ就キ承知スヘシ
大正七年四月二十三日
朝鮮駐劄軍經理部

英國製二連
壹千挺新荷着
橫濱市本町(定價表郵呈)
合資會社 金丸銃砲店(主店 西村 潤)



職業
美職遠近男女に自宅で手輕に出來る年中無休熟練日收一圓製品永久確實
以上詳細郵券十錢要す
▲此際各地に特約店募集
東京淺草區北三筋町一二
三星總本店

朝鮮總督府中央試驗所各官衙指定品 證明
エーアイ塗料 ルナミ金屬磨 販賣
◇エーアイ塗料用途 壁、天井、ドアー、窓枠、柵板、紙壁、煉瓦、石セメント、モータル、木材、金屬、ボイラー、煙突、ベンキ下塗等
◇エーアイ塗料ノ特徴 耐水性甚大ニシテ風雨寒暑ニ耐ユ一耐熱性大ナルヲ以テ煙突等ニ塗布シテ剝落ノ虞ナシ…
◇ミルナー金屬磨ノ用途 …
價格ヲ以テ斷シテ値上セズ…
朝鮮總督府中央試驗所ニ於テ研究ノ結果
朝鮮一手販賣元
京城太平通二丁目(電話七二七番振替京城二三七九番)
石炭商 西崎商會

方面海軍の雅に引戻せしも當時足らず殊に京城近海南道衛生のた……手段にては四月初旬新に開始せし近距離なる同方面へ移入多きが……に移出せられたれ共鐵道貨物輸送……の多數に於て思はしからず錦布類……金の普用相當に見る可きもの有り金融繁忙裡に越月せり（元山）

……は歐州戰亂勃發以前に於ては主として獨逸、英吉利、和蘭等の汽船に於て……古の狀態を呈し居れるが此方面に開戰以來新に開始せられたる商船會社は南米南阿の兩航路を彌彦丸、亞細亞丸の二隻を配船し來りには▲石見丸天智丸二隻の……運びに至るべく其外各汽船會社の計畫中に屬する航路に至りては殆……突より發火一家一棟を全燒し……五十分鎭火したり

●陸軍飛行が革新される
六箇月で養成する普通生
高等練習生は宙返りも遣る
五月の七期生から實施

我が陸軍の飛行將校養成法は從來の練習法に依る時は常に歐洲飛行界の進步に遲れ彼等を凌駕するは恐か慘めな記錄の示す如く彼等に追隨するの期至らざるべしとなしたる陸軍の飛行も乾度精彩ある活動を見せて信用を恢復する事であらう

◇大決心 を以て養成法を革新すべく五月一日新入隊の第七期練習將校より革正法に依つて養成することに決した、從來練習期間は一年と定め一期に十二名を限り養成して居たのであるが、五月一日を以て練習に就く將校の練習期間は六箇月と一年の二組に區別するに至つた、又募集人員も今回より二十名に增加した六箇月と一年の二組に區別したのは外國の練習法に參照したるものにして六箇月卒業のものを普通練習生とし一年卒業の者を高等練習生となし入隊當日から普通高等と區別せずして六箇月間練習を終りたる後其の內から技術優秀な者を選拔して高等練習生となすもので人員に於ては制限がない二十名の內で幾人かと

◇高等生 となる譯である、六箇月間の速成では操縱の點に於て成否如何を懸念する者あらんもモ式は操縱は半歲で充分で佛國陸軍の飛行將校は選拔されて高等練習を行ふ者あれど六箇月卒業の普通飛行學校を出た者が現に戰線の上空に飛んで重大な任務に就て居る。其他の國々に於て六箇月卒業の制度が多い樣である殊にモ式は操縱し易い故六箇月で充分だとの事である高等練習生に選拔されたる者は進んで戰鬪用飛行機ニユーポール、スパツト其他最新式の各種戰鬪飛行機の操縱を練習するのである戰鬪飛行機の操縱の中には逆轉飛行卽ち

◇宙返り 飛行も含まれて居るので第七期生から愈々之れ等の逆轉飛行が所澤で行はるゝことになる、又操縱のみでなく佛國高等飛行學校で行なつて居る飛行機射擊の練習も來年度より開始するに至るべしとのことであるが今回の養成法革新は一部に止つて根本的の改革に就ては陸軍當局に於て目下愼重に審議中であると云ふから、陸浴と相場の決

●東宮へ奉獻の 歷史畫帖 と油繪額面

立太子式奉祝の爲め文官高等官一同より獻納すべき日本歷史畫帖並に油繪風景額面は昨年四月中揮毫者を選定し爾來各畫家が熱心に製作中のところ過般全部出來した日本歷史畫帖は天地人の

◇三卷に別れ 各卷十二面宛で寺崎廣業、下村觀山、川合玉堂、菊地契月、結城素明、鏑木淸方、平福百穗、池田輝方、小堀鞆音、飛田周山等三十六名の名匠畫伯が夫々心血を灌いだ歷史畫は重田文學博士の詞書と相俟つて美しく『天』尾上柴舟『地』大口鯛二『人』阪正臣の三氏等の詞書の筆跡も亦美事なものである

◇油畫の筆者 は和田英作、中川八郎、石川寅治、安田稔、中澤弘光、金觀鎬、山本森之助の八氏で畫題を富士、鳴戶より廣く臺灣、樺太、朝鮮、滿洲に取つて各々得意の風景畫に妙技を揮つたものである三卷の畫帖は同じく陳列の三段函に納めて近く東宮殿下に奉獻せらるゝ筈である

●藥草園の位置 試驗所横と決す

中央試驗所に藥草を栽培する事となれるは既報の通なるが右は同所豫算中より約六千圓を支出經營する者にして既に用地も同所地續きと決定し居り近く中央任の理學士及び藥劑士の赴任を見るべしと

●南加州の 大地震 二市全滅す

廿一日南加州に大地震あり二市街全滅人畜の死傷多數に達す（桑港電報）

●京都瀆職事件 更に二名收監

京都市會議員波川英景、淺見孝太郎の兩名も廿三日收監されたり（京都電報）

●喇嘛僧伊勢へ

喇嘛僧一行は廿三日伊勢に向ひたり（大阪特電）

●生蕃團來る

臺灣總督府主催生蕃團は廿三日著神戶直に草津に向へり（大阪特電）

●後藤男令嗣 廿三日歸朝

後藤外相令嗣一藏氏（二九）は米國コロンビヤ大學に在學研究中の處母堂の訃に接し急遽出發二十三日午前歸朝入京せり（東京特電）

●兩縣下山火事

山口廣島兩縣下に亘る山火事は十八日より十九日に及び損害多大なり（東京特電）

●驚くに足らぬ 獨逸怪砲 學者立會の上擊つ

●彈丸の要部はタングステン●

ラオン西方の山林から巴里公會堂に至る百廿二キロ米突（七十七哩）の長距離射擊を以て、突然巴里市民を驚かした獨逸の巨砲に就いて其後巴里砲臺の報ずる處に據ると同砲彈は二百四十粍の直徑で構造頗る巧妙を極め射擊の際は數理の專門家立會の上、特別の熟練を有する砲手が一發每に非常の

▽手數と苦心 を拂ふて射擊して居るらしいが、同砲彈は壞國の砲兵工廠に製作され、一門の價格少くも八千圓以上だらうと云ふ、同怪砲の射擊は一時少からず聯合側を驚かしたが、斯かる長距離の射擊は如何なる方面から研究しても、結局

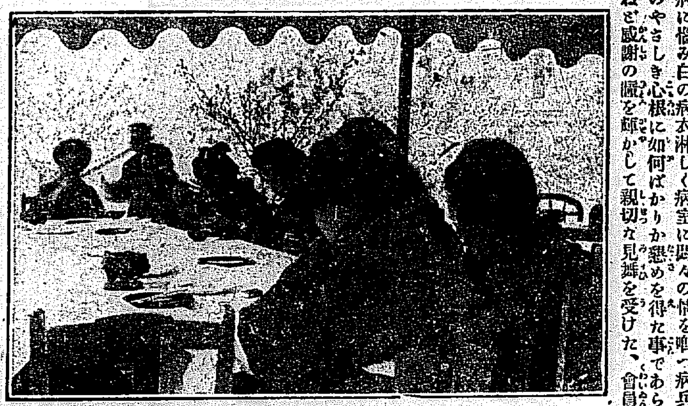
▽空氣の抵抗 少き高空の射距離を利用するの外なく、現に佛國專門家シユールス、ヴアーン氏は約一年前同種の大砲を發明し少くも百キロ米突の射擊容易なりと斷言し居りし程なれば、專門家の技術家に取り今回の獨逸怪砲は何等の驚異に値ひせず、殊に其爆發力は普通の大砲に比し

▽遙かに微弱 なるによりて、決戰上には無論何等の効果なく、單に政略的の『威嚇砲』に過ぎずと認められ居る由、尙佛國前首相パンレーヴ氏は世界有數の數理學者なるが、右怪砲に對し意見を發表し、タングステンは普通

▽鋼鐵に比較 し、空氣の抵抗を受くる事其二分の一に達せざるにより、怪砲彈の要部には多分タングステンを利用せるならんと觀測してゐるとの事である。

●病勇士に同情の淚 ＝愛國婦人會の患者慰問＝

京城愛國婦人會員は二十三日午後龍山衞戍病院に病兵の慰問をした。會員は室谷院長の案內で外科、內科、重病患者各室で親しく病兵を慰問したが病に惱み白の病衣淋しく病室に悶々の情を喞つ病兵はかゝる會員のやさしき心根に如何ばかり慰めを得た事であらう口には言はねど感謝の眼を輝かして親切な見舞を受けた、會員は亦たお國の爲めに奉公の勇士が病の床にあるを眼の邊り見ては徐ろに淚をさへ絞る者もあつて婦人らしい同情を禁じ得なかつたそして國家の干城を過する道の行屆いた事に感歎の言葉を惜まなかつた慰問を了へた會員は折から院內に咲き誇る櫻の下を逍く隊から起る喇叭の音に誘はれてサラ〳〵と散る瓣を浴びて廣い庭內の春色を眺めて步いた後設へられた天幕內でお茶の催しがあつて病院を辭した、當日來會の婦人は蜂尾京銀支配人夫人、藤田夫人、兼子夫人、二宮夫人、山口夫人、淺倉夫人、芳賀總督府醫院長夫人、佐藤軍醫部長夫人、室谷院長夫人、梶原夫人、釘本夫人等で慰問品として煙草、菓子、繪葉書等の寄贈があつた。（寫眞は慰問婦人の茶話會）



●餠撒きに賑ふた試運轉式
新造の警備船 四隻の船空に舞ふて首途を祝ふ
好成績の裡に目出度終了

十三日午後撥て警務總監部から仁川光田造船所に依囑建造中であつた警備船三隻の試運轉式を擧行した、警務總監部からは、

回前田大佐 國友、宮舘兩課長、司令部の赤澤中尉の諸氏臨席の上定刻仁川稅關棧上の室で開式、來賓として峯屋總督府武官、櫻井仁川稅關長、遞信局海事課より熊野須田兩技師、松元仁川署長、壬生港務醫官、光田造船主、多數列席し國友警務課長の

回開式の辭 並に警備船建造に對する工事の經過報告があり終つて警務總長代理前田大佐より警備船の建造計畫其の他に就いての式辭があつた次いで櫻井稅關長は來賓を代表し祝詞を朗讀して式を終り夫れから一同は稅關棧橋に集合此處でお祝ひの

回餠撒きが あつて一しきり賑はひ棧橋に繋留されてゐる雉丸と鳩丸とに分乘した、兩船共滿船飾を施し滿なしい木の香と共に新裝振りを見せてゐた記念の撮影を終ると四狩の鳩が船內から鋒で出してけふの試運轉を祝ふ鐵て船は埠頭を離れ

回試運轉の 途に就き仁川の一時間半、外海附近迄游弋し好成績を示して目出度引き返した尙別の一隻鵄丸も既に竣工してゐたが當日は運轉に加はつてゐなかつた此の三隻は全長五十尺、巾十尺で各十五噸、速力は現在各港に配置されてゐる警備船よりも大形であるのみならず船脚も

回一等速い と言ふことである、一隻の建造費に八千三百餘圓を要した相であるが兩船は近く鎭南浦署外一箇所に配置するといふことである、因みに試運轉に臨席した前田課長以下は來賓一同と共に同夜稅關で祝杯を擧げた

笑ふた牛耳洞の櫻 ＝廿三日午後牛耳洞にて＝

●龍山の血塗騷 酒の上から喧嘩して 二名重傷す

二十二日午後六時半龍山彌生町に大格鬪あり重傷者二名負傷者一名を出したり報に接し憲兵分隊の竹田憲兵は淺山醫師同行現場に出張し取調ぶる處ありしが

▲負傷者は 彌生町六番地料理店松葉亭の板場寺山德一郞同人妻かく及び漢江通六番地理髮業平山喜吉同人池上梅三にして寺山は左側頭蓋部より左耳を斷して頸下に至る刃傷を受け池上は後頭部に十二箇所の打撲傷と外に腰及び各所に數箇傷のれ傷を受け又寺山妻かくは右手甲に刀傷を受けて掌を貫く刃傷を蒙りたり寺山及池上は重傷にて中にも寺山は

▲一時危篤 なりしと負傷者は三名共彌生病院にて應急手當を施し目下の處にては三名共生命に別條なき見込なるが原因は寺山が池上と共に飲酒中妻と口論を始め池上が入釜しと云ひたるを癪に障へ矢庭に池上に打つて懸りしより池上も負けては居らず折柄持ちあはせたる剃刀を取出し寺山に斬りつけしが全く酒の上の事なりと

●無心の花も 頤を解いたか
牛耳洞の櫻花

○こゝ五六日が見頃だ
●二十三日花の牛耳洞に催した
●サツポロビールの盛んな花見

牛耳洞の櫻滿開となる二十三日の午前九時三十分南大門驛を發すと元山行き列車の三等車に溢れ込んだ男女二千餘人の

○奇怪な一團があつた男の方
○何れも陽氣であつたが女の方には出しのお三どん

に扮した御助、お酌に化けた久子嘉蝶、丸髷姿に納まつた千代次、奴など何れも花見氣分を極度に發揮する一方その秀奴、太郞、千代松、花龍、勝勇など一粒選りの艶やかなのが加はつて、ブツシヨイ〳〵と繰り込んだ騷ぎは何事が起つたかと思はせる程だつたが、この一團はサツポロビール會社が催した牛耳洞觀櫻會の連中で、同社關係の客も例の午餐會關係の人が多かつた。

◇何しろ今年の牛耳洞の花見の幕開けといふので汽車の中から騷ぎ返るミヲート

倉洞驛に著いて牛耳洞までの田舍道を春風に揺られ行く雌蝶雄蝶のそれのやうに何時の間にか到著した始末、愈々牛耳洞へ著けば吉田サツポロビール氏から『各々美人を連れて何處の茶店にでも御勝手にお這入りになつて御料理を召上つて下さい』といふ花見式に碎けて挨拶があつたので

○一同大いに自由な行動を始め
◇上手で歌を唄つたり踊つたり
◆に花より團子を極めこんだり

をしたり角力を取つたり芝居をしたり男女の一切無差別にあらゆる藝を味はつて些か疲れ氣味の所へサツポロビールの旗を立てゝ迎へに來た四臺の自動車に分乘して京城に歸つたのは六時過ぎ、正午から六時前まで約六時間といふものさんざ遊びくらしたこの一團のために促がされてか、逍遙つてゐた牛耳洞の櫻の八分咲が顔を出して笑ひ出した、五六日が見頃であらう

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
ヂゲスチン
食慾が進まない時に食慾を促す
元氣が衰へた折に活力を與ふ
貧血のものには血液を補給す
精力の增進と體量の增加を促す
胃腸の諸疾患に現今醫界大家は本品を最も賞用せらる
●說明書進呈●
東京本町 發賣元 四城商會

道しるべ [illegible]

公告
破產者三木熊之助破產事件ニ付キ破產管財人ハ配當ヲ終リタルヲ以テ終局ノ計算ヲ爲ス爲メ來ル四月二十七日午前十時京城地方法院ニ債權者集會ヲ招集ス
右公告ス
大正七年四月二十二日
京城地方法院民事第一部
破產主任 三田村平太郞

菊苗 世に類なき珍種を集めて……

京城古市町 硝子工場 [illegible]

京日案內

果樹園 [illegible]

店員入用 京城本町 ますや呉服店

恩給年金立替 國江商會

債券高價買入

花時 洪農園

寫眞製版 京城日報社

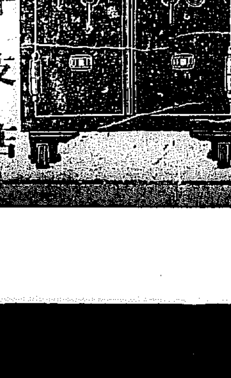
京鄕貿易商界の大福音
朝鮮式諸般靴下纖造
日鮮貴婦人用鬢髮油各種製造
卸商 三友商會

割安出資法
安全第一有利事業
出資額 五拾圓
元利決算 三ヶ月
配當年二割五分以上確證
◎內容御照會を乞ふ◎
東京銀座 大和商事株式會社信託部

怱ち六版
パン 家庭パン製法
子爵田尻稻次郞先生序 田邊五平先生著
◎七博士推薦日本一安價生活法！
發行所 大日本食料品研究所

關東都督府硫酸工場製
工業用硫酸 六十度、六十五度、六十六度
右多少ニ不拘御用命仰付被下度候
朝鮮滿洲 指定賣捌人
大連市監部通七〇號地
合名會社 鳥久商店大連出張所

竹內ベント式 金庫
壁壁を死守するものは勇士なり
財產を死守するものは此金庫也
京城本町 熊平支店



貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所

花吹雪

大阪 中谷靑霞

(十)

主税之助は臥し作らも、「奴と」は潜越の一言、聞捨てならぬと起きかゝるを、唐土は立寄つて眼顔で押へ。

『ねー身分ある方のお出なさるゝ處ではござりませぬ。』

『や、身分あるものとは……。』

と兵馬は柳川と顔を見合す。

『何者の酔興か、この柳川が見届けて呉れる。』

兩人等しく立かゝるを、唐土は蛇と身を構へ立塞がつて、

『何となされまする、遊女の身と侮つて理不盡に部屋へ踏込むさへあるに、他人の預りものを自儘に見届けうなどゝは、餘りに無禮過ぎたなされ方、命にかけてもこの屏風一重、退けさせませぬ。』

『ならば客の前へ出ぬと云ふたは亭主の欺かりか、お身の詐りか。』

『さアそれ聞から、唐土。』

と益々詰寄る。

『宿の欺かりでも姿の詐りでもござりませぬ、豫めつて客の前へは出ぬと云ふが定。』

『ならばこの屏風の裡は何者ぢや云はぬとあれば見届けるまで。』

『さア唐土、この柳川は何時までもお身に詐られてはゐぬぞ、云はぬか。』

『さ。』

『云はぬとあれば踏込まうか。』

『云ふて可ければ云ひませう。』

『さア聞から、つゝと云へ。』

『お客でもなく只のお方でもない、さる人から預かつた姿の情人…。』

『なに、情人とな。』

『その情人男見たい。』

『なりませぬ。』

『ならぬとあらば名を明かせ、明かさぬとあれば引捲くろうか。』

『女でこそあれこの唐土、神ぞの主様に恥辱を見せやうとあるお二人、命と釣替へならば見せませう、さア覚悟で御覧なされませ。』

唐土は柳眉を逆立て、蠟色鞘の懐劍を前に握つて、眼の色變へた血相。

『やゝ、この床の間の乱架に二本差せた脇差の笄、定紋は旗本月岡が腰の物、むーさては主税之助な……。』

と兵馬は蛇と床の方を見込んで頷く。

『なゝ何、月岡の一子主税之助とな…むー靑二才の分際で片腹痛い情夫客振り、逢引も又一興、引出して逢ふて呉れう。』

『何者が誘ふて踏みも馴れぬ色廓の部屋邊、迷つて轉んだか犬ころのやう、猫にくるまつて寝てゐるも笑止。』

主税之助は堪へ兼ねて起き上ろうとするを、唐土は背後に圍ふて手先で制する。

兵馬香雨の二人は引退けて見届けんと再び立かゝる一刹那。

『建部兵馬、柳川香雨さやら、との了俟が逢ふて呉れる。』

廊下のあたりに突然と聲がした。

◆歐洲戰場の迷信

戰線にある佛國軍人間には種々の迷信が行はれて居る、その一つは金貨、靴下、葡萄酒

▲金貨を衣嚢へ入れると天祐がある、それは一つより二つと數の多い方が功徳も多い、この迷信が一時盛んに行はれて何千人といふ兵士が多數の金貨を持ち出したので政府の方では獨逸人の手に渡る恐れがあるから是丈は止めて貰ひたいと命令に及んだといふ話がある

▲左の足から初めると彈丸が中らない、これは或る兵士が云ひ出したのだがその兵士が慌てゝ右から穿いて戰死した、そこで此迷信が小隊から中隊、中隊から大隊、師團と擴まつて今では戰場一般の信仰となつて居るその次は

▲葡萄酒で耳を濡すと天祐があると云ふのである、これは何處から初つたか判らぬが夜襲や突貫のある時には必ず葡萄酒を出して此儀式を行ふのが佛軍の習慣となつて居るさうな

日報俳壇

春季雜詠 諒選

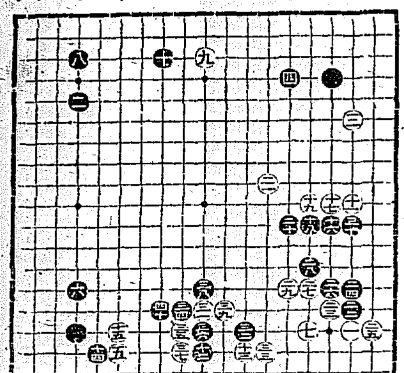
椿埋む餅、讀經や鳴く雉子　綠
山の中雉子が啼く居る背田哉　同
廟の樹に春宵ほ寒き日影哉　同
雲雀野に大河瀨る眞晝かな　同
備と散りて又寄る魚や春日影　同
物縫へる座に畑打つ響哉　松月
吠ながら逃け込む犬や門花菜　同
一の陽に鈍き馬の瞳かな　同
物憂氣に水呑む春の野鹿哉　同
好く笑ふ夫婦睦るや春の宵　同
風光る曠野、蝨と古松哉　佐多女
工事場に人夫の唄や暖き　同
泣癖の子が默りけり虻の蜂　同
雪解や四山豊かに湧く煙　同
雪解で畑の年木積替へる　同
春の日や大河に砂金篩ふ人　同
縁に出て、唯る吾や木蓮花　高村
温泉に朗む酌む木の芽風　同
鳶が舞ふ下の大河や春の風　同
山の池、澄む朝月や木の芽晴　同

■春の句を募る 何數無制限平壤高町松田方眞魂宛郵送ありたし

碁戰

十番碁第九局の(三)

三段 山平壽氏
二子 大久保雅彦氏



一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

二一 トの九 二二 ハの五 二三 ニの五 二四 ハの十四 二五 ロの十五 二六 ニの十三 二七 ホの十三 二八 ホの十 二九 ヘの十一 三〇 ヘの十二 三一 ホの十二 三二 ヌの十三 三三 チの十四 三四 トの十五 三五 ルの十六 三六 ルの十五 三七 ヌの十七 三八 ホの十七 三九 リの十六 四〇 チの十五

コロタイプ印刷

繪葉書製造、諸記念寫眞帖

龍山漢江通八(電話五三六番)

門田寫眞製版所

新刊紹介(到着順)

◉愛陶會珍趣向 三銀の愛陶會は目下の盛況で毎月四回の会合に擧行して居る、三銀陶器鋪特の美術陶器が居乍ら選んで買へるといふ趣向な會で陶器な断當される毎月配達品は、四季三眠の食器、陶器品等季節に因み美麗なる品を選んで贈る由なるさつも至實である今月何んな品を贈つて寄越すか、待ち彼らのも面分染みである(東京市京橋區)東京新橋三銀陶器鋪

▲大日本新聞(三六七) 五錢 東京々橋區敷島町一ノ三 共社

▲朝鮮鐵道青年(八ノ四) 朝鮮龍山 道務內共會發行

▲臺灣人口動態統計(届出之部) 臺灣總督官房統計課

讀者の領分

▲十八日當欄の寄稿に對し君の様に聞く、君の抗論に就ていら…から超越するだけの事さ、君のは超然として居るらしいだけで却つて世の中にへばりついてゐたいから色々自家擁護の方法がある、しさに自己の不満をさらけ出した病根なのだ、病因の醜態より自己の精神が健全か否かを診察して貰つてから、あんな事は云ふ様にしたまへ、人は何んなしても自己だけの周圍を考へておりやアそれで宜んだよ、超然たれ然らば汝の病は忽ち癒ゆべし(蛙の花)▲容由生よ我等鮮人間に日常用ひる『ヨボ』が内地人が用ひる時は何故侮辱たるか余は敢て貴公の爲めに説明す朝鮮人が使ふ『ヨボ』と内地人が使ふ『ヨボ』の稱呼とは意味が違ひます朝鮮人が云ふ『ヨボ』は内鮮語で云へば『モシ〱』同様で他…です(…)『ヨボ』の稱呼は…りますが…『ヨボさん』が何々したと云ふのも…詞の一例です願ますが今後は…『ナリ』と云ふ稱呼を使つて…(ヒーヤイ生)▲京龍道…公…(…)く組築する由なるが同校…の自己の郵便貯金が…き旨申出でたる由なり誠に奇特なる…ふべし(大邱府金河榮)▲…

京城府告示第五號

大正七年度京城府歳入歳出豫算左ノ如シ

大正七年四月二十日

朝鮮總督府京城府尹 金谷充

大正七年度京城府歳入歳出豫算

歳入
一金參拾九萬九千五百八拾圓 經常部豫算高
一金拾參萬五千五百六拾參圓 臨時部豫算高
合計金五拾參萬五千百四拾參圓

歳出
一金參拾參萬四百七拾六圓 經常部豫算高
一金貳拾萬四千六百六拾七圓 臨時部豫算高
合計金五拾參萬五千百四拾參圓

歳入歳出差引殘金ナシ

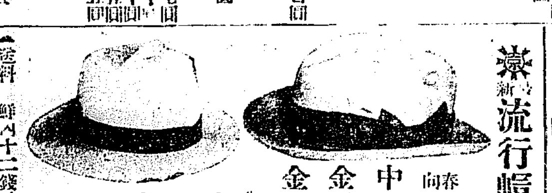
歳入經常部
第一款 府税 金三十萬八千八百八十六圓
第一項 市街地税附加税 金六萬三千圓
第二項 家屋税附加税 金三萬八千五百圓
第三項 特別戸別税 金十萬七千四百二十六圓
第四項 營業税 金十一萬千四百三十三圓
第五項 電柱税 金千四百十七圓
第六項 雜種税 金四萬四千百十圓
第二款 使用料及手數料 金八萬六千六百七十四圓
第一項 道路及公園使用料 金百十五圓
第二項 傳染病院使用料 金七千七百九十圓
第三項 墓地使用料 金千七百十圓
第四項 火葬場使用料 金二千八十八圓
第五項 屠獸場使用料 金二萬四千百六十三圓
第六項 督促手數料 金三千七百三十六圓
第七項 證明手數料 金千六百九十二圓
第八項 鑑札料 金八十圓
第三款 交付金 金二千十一圓
第一項 國税交付金 金四千百七十二圓
第二項 地方費交付金 金四十四圓
第三項 國有林小作料交付金 金二圓
第四項 公立普通學校費用負擔金 金七十三圓
第四款 財産ヨリ生スル收入 金九圓
第一項 基本財産收入 金六十六圓
第二項 積立金收入 金十三圓
第五款 雜收入 金三萬七千三百八十一圓
第一項 辨償金 金二萬四千二百十二圓
第二項 報償金 金四千三百七十六圓
第三項 運用利子 金八百七十二圓
第四項 物件拂下代 金三千百八十九圓 ...
第五項 雜入 金三百三十九圓
經常部計 金三十九萬九千五百八十圓

歳入臨時部
第一款 繰越金 金一萬圓
第二款 國庫補助金 金八萬五千百二十五圓
第三款 地方費補助金 金一萬八千圓
第四款 寄附金 金百五十圓
第五款 過年度收入 金四百二十圓
第六款 財産賣却代 金二萬圓
第七款 積立金收入 金六百五十六圓
臨時部計 金十三萬五千五百六十三圓
歳入合計 金五十三萬五千百四十三圓

歳出經常部
第一款 事務費 金五萬七千四百五十九圓
第一項 府協議會費 金三百五十圓
第二項 吏員給 金一萬八千四百八十圓
第三項 旅費 金千四十三圓
第四項 雇人料 金三千九百圓
第五項 備品費 金二千八百九十圓
第六項 雜給 金一萬四千六百七十一圓
第七項 需用費 金一萬千五百五十三圓
第八項 通信費 金千六百九十一圓
第九項 郵便振替貯金諸費 金千八百圓
第十項 公告諸費 金七百二十圓
第十一項 修繕費 金三百九十五圓
第十二項 雜費 金八百三十五圓
第二款 土木費 金四萬六千八百六十一圓
第一項 道路橋梁費 金四萬五千七百二十二圓
第二項 溝渠費 金百九十五圓
第三項 測量費 金五百九十圓
第四項 雜費 金百五十圓
第三款 傳染病豫防費 金三千八十八圓
第一項 傳染病院費 金二千二十三圓
第二項 雜給 金八百六十三圓
第三項 需用費 金八百五十圓
第四款 種痘費 金一萬四千八百五十三圓
第一項 傳染病院費 金四千八百五十三圓
第二項 雜給 金二千百九十圓
第三項 需用費 金三千三百四十八圓
第四項 修繕費 金九十八圓
第五款 汚物掃除費 金十五萬七千九百三十三圓
第一項 雜給 金七千八百十六圓
第二項 傭人料 金十四萬三千十三圓
第三項 馬匹費 金一萬九千四百九十八圓
第四項 需用費 金一萬四千九百九十二圓
第五項 道路撒水費 金五千六百九十二圓
第六項 驅除費 金六十六圓
第七項 修繕費 金千二十四圓
第八項 雜費 金千二十四圓
第六款 屠獸場費 金九千二十四圓
第一項 雜給 金三千五百五十一圓
第二項 需用費 金二千五百三十三圓
第三項 修繕費 金二千九百二十八圓
第四項 雜費 金七百四十圓
第七款 墓地及火葬場費 金四千七百七十三圓
第一項 墓地費 金千三百三十一圓
第二項 火葬場費 金四千百四十二圓
第八款 公園費 金二千七百六十二圓
第九款 救助費 金千七十二圓
第一項 窮民救助費 金七百七十二圓
第二項 行旅病死人諸費 金三百圓
第十款 警備費 金一萬六千三百四十一圓
第一項 雜給 金九千七百五十四圓
第二項 需用費 金千六百二十六圓
第三項 修繕費 金二百六十七圓
第四項 勸業獎勵費 金六十五圓
第十一款 勸業費 金百六十五圓
第一項 基本財産造成費 金百十一圓
第二項 基本財産造成費 金八十一圓
第十二款 衞生費 金四十四圓
第一項 產業獎勵費 金一圓
第二項 財産管理費 金十四圓
第十三款 諸支出金 金二千五百四十六圓
第一項 管理費 金二千五百圓
第十四款 雜支出 金四十五圓
第十五款 豫備費 金二萬千八百十六圓
第一項 過年度支出 金三百圓
第二項 繰替金 金三百圓
第三項 神社供進金 金百五十圓
第四項 借入金利子 金百九十八圓
第五項 豫備費 金三百圓
第十六款 雜 金九千八百三十八圓
經常部計 金三十三萬四百七十六圓

歳出臨時部
第一款 臨時手當 金一萬六千七百七十六圓
第一項 職員臨時手當 金六千三百九十六圓
第二項 傭人臨時手當 金一萬二百八十圓
第二款 土木費 金三萬二千三百三十四圓
第一項 道路橋梁費 金三萬二千二百三十四圓
第二項 傳染病院費 金二千百圓
第三款 汚物掃除費 金三千九百五圓
第四款 屠獸場費 金三千九百十五圓
第五款 墓地及火葬場費 金七百三十圓
第六款 火葬場費 金二千五百八十圓
第七款 公園費 金二千八百六十二圓
第八款 市場費 金六百七十圓
第九款 寄附金 金二萬五千六百一圓
第十款 府債償還 金一萬九千八百二十圓
第一項 元金 金一萬九千八百二十圓
第二項 利子 金千八百二十圓
第十一款 下水改修費 金五千七百八十一圓
第一項 下水改修費ノ内本年度支出額 金十二萬六千圓
第二項 下水改修費ノ内清溪川改修工事費本年度支出額 金七萬六千八百圓
第三項 下水改修費ノ内幹線工事費本年度支出額 金五千圓
第四項 下水改修費ノ内雜給本年度支出額 金二萬五百圓
第五項 下水改修費ノ内需用費本年度支出額 金二萬九千十圓
臨時部計 金二十萬四千六百六十七圓
歳出合計 金五十三萬五千百四十三圓

新流行帽子



春向 ソフト 中折帽子 金二圓より金六圓迄

パナマ帽子 金一圓より五圓八十五錢迄

●塗料 鳥打帽其他最新形 鮮内十二錢外二十錢 澤山

取揃へ居り候の際は柄向(縞とか無地など)色合御希望御價格御申越被下候ヾ必ず適當の品を見計ひ御送付可申上候

京城太平通

京城日報代理部

振替貯金京城三〇〇番 電話構内十八番

大阪屋號書店 京城本町

最も簡便なる 理想の珠算 定價各七十五錢

石上錄ノ助著 英文典新釋

百圓進呈

りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院

にせ物にせ物に御注意あれ

大阪有田ドラッグ商會

京城南大門外停車場通

京城本町三丁目 京城黄金町三丁目 元山本町三丁目

ドラッグ 大阪南大門外停車場通

他の藥店に販賣を不許

最新刊

露西亞に遊びて 大庭柯公著 定價二圓

無代進呈

ハガキに必ず病名を記して申込あれば彩色圖入の詳細なる書を直に秘密送呈す

東京市本所向島小梅町二〇三

東京藥化學研究所

黴毒淋病で常惑する人に

帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は効力卓絶にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり

口もとの美しさ

凛々しい口元 愛嬌ある口元 意味のふかい口もとの微笑

河合武雄談

(ミツワ文庫七四)

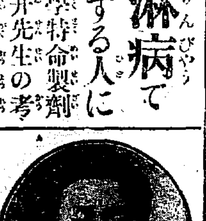
『睡凉しう鼻筋がすつと通り、口もとのしまつた……』とか『櫻ん坊の肌理細やかに、愛嬌のある口もとを笑ふ度に掩ひかくす』などとありまする様に、口元の美しさが美人としての資格に數へられるものでございます。伊太利の有名な畫家のヴヰンチの手になりましたモナ、リザの口元に微かに浮んで居る微笑は非常に意味の深いもので、美術家や學者が今にその解釋に種々と頭を惱して居ると云ふことを聞いて居ります。それ程口元は大切なものでございますから、口もとを美しくします為にお化粧に工夫をなさいますことも御婦人方の御心得の一つかと存じます。

口の廣すぎますのは醜くて申します人を喰つた口もとの様で賤しく見え易いものですから、此を尋常に美しく見せますにはお化粧の時唇の内と、くちわきへかけまして白粉を塗り込み、紅を内の方から少し濃い目につけますと宜しうございます。

白粉と紅の配分は其人の口の大小によりまして、白粉三分紅七分又は白粉二分紅八分となります。

唇の厚いのを薄く見せますのも矢張口の廣いのを狹く見せるのと同様に白粉を唇へ塗り上げますのですが、只くちわきへ白粉を塗りこまないだけが違ひます。口の小さいのは日本では昔から顔のたりがよろしいと云ふことになつて居りましたのですが、又餘に小さくなりますと全體を見ました處から恰好の宜しいものではございませんから、此を尋常に美しく見せますには紅を唇一ぱいにつけますと大きく見えて参ります。

と口のあたりの大層細かい處ですから餘程よく肌理が細やかた潤ひを持つて居なければなりません、それには入浴や洗面の都度に必ずミツワ等の事を塗りまして按り込む、にして、あとをお湯で揩つた手拭で抑へる様にして輕く拭いて置きますと、肌理が細やかに潤澤を以て斯様な細かなお化粧も美しく出來る様になります。



▲小織桂一郎曰く にきびと云ふものは出來ますのがお身體の健やかな印ぐらゐなものですが、お若い時には誰方にも出ますものでございますから、御化粧をなさるには…

皮膚の營養を助けるミツワ石鹸を用つて顔を丁寧に洗ひまして、斯な細かい處までもおろそかにしない様に御注意が肝要でございます。ミツワ石鹸を掌で溶いた泡沫を隈々まで塗りまして丁寧にかく撫でますと、汚垢が此の泡に吸はれる様になつて混りますから此をお湯なり水なりで洗ひ流し柔かい乾いたタヲルで水氣を…

●英國汽船併合 …の汽船會社は船舶を増造し居れり…カンチル、スチームシツプ、カンパニーは約百三十萬磅にて所持…は當事者が政府戰後多年に亘り…▲船舶を管理し從つて…時運界が好況を呈す可きは何人も疑はざる所なれども現下船舶…

▲全北長水の水鉛鑛(全北) …一日平均採掘は直營總大約八十斤見當を上下し現地に於ける水…地より入り込む者多く目下内地人…飲食店四箇座敷一棟且一雜貨店…は有名なる織物にて既に…除の大豹を生捕りた…二十五頭を生捕りたる…